



津市一身田町2843
高田中・高等学校内
樹心会事務局
電話 059-232-2442



ご挨拶
同窓会会長
佐脇 功

諸先生方からご案内されています。進路指導、部活動など文武両道にわたり著しい成果を挙げています。同窓生としても喜ばしいことで学苑ご当局に敬意を表します。

同窓会会員の皆様には、ご清祥のことと存じお慶び申し上げます。平素から同窓会活動並びに母校の発展に格別のご協力ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

母校の近況は、学苑長先生はじめ



ご挨拶
学苑長
高臣 文祥

同窓の皆様にはご健勝にて各方面で活躍のこととお喜び申し上げます。

高田中・高等学校の校訓は、「言行忠信、表裏相応」(言行に誠意があつて表裏なく、己をいつわらず他をいつわらない)であります。

この言葉は仏説無量寿経からとられたものです。私は、この言葉が中高生にとって校訓としては少しばかり堅すぎるのではないかという思い

徒研修会が開催されました。ご法主猊下から昨年十一月、御影堂と如来堂が国宝に指定されたことをお慶びされました。同窓会も心からお慶び申し上げます次第です。

新聞にも報道されているように県内で建築物として初めての国宝です。御影堂は国宝・国重要文化財の木造建築のなかで国内五番目の大きさです。檀信徒研修会で両御堂の特別拝観があり、広報担当者から説明されました。御影堂は高さ二十七メートル、幅四十二メートル、奥行き三十三メートル、畳は七百八十枚敷き、屋根瓦は十九万枚が美しい曲面を描いている。二度消失して一六六六年に再建された。江戸の一流大工と内装は日光東照宮の職人によって当時の建築技術の粋を極めてい。お堂の奥は壁、柱、欄

間も金色に輝き、恰も極楽浄土を表現している。如来堂は規模は小さいが二層で高さは御影堂と同じ。上層の屋根の軒裏に突き出た「尾垂木」の先端には仏の慈悲を表す象と、邪気をはらうとされる伝説の動物「狛(ばく)」、仏法や仏法を信仰する人々を守る竜の彫刻が施されている。一七四八年再建在校中は毎月、本山参詣をいたしました。当時を思い起して卒業後も一層、宗教的情操を培い、人間性豊かな社会人として社会貢献できるよう努めたいものです。

日本の総人口は年々減少しています。所謂、少子高齢化は進みます。公私立を問わず学生・生徒の確保が肝要です。母校は学苑ご当局のご努力により全く不安なく発展を維持されています。同窓生も微力ながらお力添えできるよう念じています。

十九日に起工式を行い、本年度中(来年三月末)に完成の予定であります。次にICT教育の推進であります。昨年度には中高の普通教室すべてにプロジェクトとスクリーンの設置をご報告しましたが、今年度はさらに進めて校舎全体にWiFi網を設置します。

中学ではGSウィットによるICT教育を実施します。高校ではベネッセと契約して高校一年からクワッシーに取り組みます。これは連絡・学習ツールとして活用しますが、新しい入試システムとして取り入れられようとしている、生徒各人が自分の高校生活における実績を積み上

伝えるべき大切なものと思われてなりません。さて、今年度の学苑の取り組みとしてまずお知らせすることは、第三体育館建設であります。これまでは第一体育館(アリーナ)と第二体育館(武道場、卓球場、吹奏楽練習場)で活動してきましたが、中学の部活動の場所、高校新体操部、バトミントン部、中高なぎなた部の活動場所が十分でなく頭を悩ましておりました。そのようななかで、東グラウンドの東側プールが老朽化したこともあり、プールを解体しその跡地に第三体育館を建設する計画が建てられ、学苑理事会で承認されました。六月

同窓会員数は年々増加を続けて県内最大規模です。各地各界それぞれの職域職場で同窓生が活躍していることは誠に喜ばしい次第であります。今後とも情報を共有し一致団結して会員相互の絆と信頼を強めて活躍を期待します。母校に勤めている同窓会員は母校愛の精神のもと母校の教育を支えているという自負心を持ってご精進ください。

同窓会は会員相互の親睦を図るとともに母校の発展に協力し支援できよう学苑と連携し、主体性をもって活動しますので今後とも一層のご理解ご協力をお願い申し上げます。八月五日(日)の総会にはお誘い合わせて多くの皆様が参加されますようお願い申し上げます。

ご出ていくポトフォリオを作成することが出来るツールでもあります。今年度の中学入試は少子化の底になる年でありました。そんな中で中学の応募者は昨年より増加し、入学生も予想以上に多く来てくれました。大変ありがたいことだと喜んでいます。この波は三年後には高校、さらにその後には短大とやってきます。もとより学苑の維持発展においては生徒・学生募集が要であることは言を俟ちません。今後の難局に向けて教職員一同が協力して高田学苑の教育に邁進して参る所存です。同窓の皆さんの力強いご支援を賜ります様お願い致します。

願ひ致します。



ご挨拶と報告

中高校長
梅林 久高

同窓の皆様におかれましては健康で活躍のこととお喜び申しあげます。日頃は本校の発展に物心ともに理解とご支援を賜っていることに深謝申しあげます。

この三月には卒業生585名(三年生392名、六年生193名)が、学業、クラブ活動に精励し、友情の輪を広げ、楽しみや苦しみ、喜びや嘆きの思い出を一杯作り、さらなる自己実現を目指して飛翔して行きました。四月には新中学一年生209名、新高校一年生449名、四年生178名を迎え、在校生合わせて2413名、63クラスでスタート。伸び伸びと深刺と明るく元気に学業にクラブに精進し、人間関係の絆と自己形成を深めつつ自覚もって学校生活を楽しくしていると確信しています。少子化が加速化する中で、中



新しい年度を迎えて

短大学長
栗原 廣海

樹心同窓会会員の皆さま、こんにちは。ご壮健にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

日頃は本学の教育にご協力、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。平成三十年度も約三か月が経過し、

学・高校とも、募集定数より多くの生徒が高田を選んで来てくれました。中学では愛知県から14名の新入生を迎えることができ、嬉しい限りです。

本校の建学の精神である仏教、親鸞聖人のみ教えに導かれ、さらに今般、国宝に指定された本山の御影堂、如来堂を仰ぎ、緑に囲まれた自然豊かな境内を背景にし、心豊かに育つてくれることと強く願っています。

昨年の就職、進学状況、部活動などの詳細な内容や結果などは会報の記事をご高覧ください。幸甚です。進路実績では、六年制は、功成名遂を保持しつつ、医学部への合格も多く出しましたが、前年よりやや下がり、三年制は好評噴々であります。国立への合格が目標に少し達成しませんでした。指導方法を検証しさらに一人一人を丁寧な指導し「伸ばす、深める、高める」ように育てていきたいと決意しています。

部活動では、同窓会設置の「全国出場クラブ激励金」を多くのクラブと生徒が頂戴し、さらに上位を目指すことに燃えています。顧問は多忙な業務をこなし休日にもクラブ指導・引率、試合にと専念して成果を上げてくれています。クラブ活動の嬉しい活躍の反面、顧問確保や遠征費の出費にも苦慮しています。

三重県で7月から8月に全国インターハイが開催され、本校からはなぎなた、卓球、新体操、女子柔道、馬術が出場。そして、開催中、手伝い生徒として、なんと延べ1900名が協力し「高田生らしさ」を發揮してくれました。

部活動以外での活躍も多くありますが三人をご紹介させていただきます。放送部で活躍する高3の江崎 夢さんは、NOP団体NFTをたちあげ、3月に「高校生からトランスジェンダーから学んだこと」の講演会を開催しました。トランスジェンダーに対する周囲の認知と理解を広める。もし自分が当事者の身近な存在になったとき、自分自身が当事者にとってプラスな存在になれるようにすることを目的とし、パネルディスカッション、部講演の二部構成を企画運営し、多くの参加者がありました。第1部では「性別違和をもつ当事者と周囲の理解」のコーディネーター

率、試合にと専念して成果を上げてくれています。クラブ活動の嬉しい活躍の反面、顧問確保や遠征費の出費にも苦慮しています。

部活動以外での活躍も多くありますが三人をご紹介させていただきます。放送部で活躍する高3の江崎 夢さんは、NOP団体NFTをたちあげ、3月に「高校生からトランスジェンダーから学んだこと」の講演会を開催しました。トランスジェンダーに対する周囲の認知と理解を広める。もし自分が当事者の身近な存在になったとき、自分自身が当事者にとってプラスな存在になれるようにすることを目的とし、パネルディスカッション、部講演の二部構成を企画運営し、多くの参加者がありました。第1部では「性別違和をもつ当事者と周囲の理解」のコーディネーター

望者全員が地域の保育施設、企業、介護施設等に就職させていただきました。先輩方の地域での活躍の賜物と、厚く御礼申し上げます。

今年卒業生の中で特筆すべきことは、これも学科の二十名の学生が各市町の公務員試験に合格できたことです。また、卒業生も二十四名が合格し、合わせて四十四名が公務員の保育者となることができました。また、オフィスワークコースからは、百五銀行へ五名、第三銀行へ五名、

望者全員が地域の保育施設、企業、介護施設等に就職させていただきました。先輩方の地域での活躍の賜物と、厚く御礼申し上げます。

今年卒業生の中で特筆すべきことは、これも学科の二十名の学生が各市町の公務員試験に合格できたことです。また、卒業生も二十四名が合格し、合わせて四十四名が公務員の保育者となることができました。また、オフィスワークコースからは、百五銀行へ五名、第三銀行へ五名、

ターになり、その活動に高い評価を受けました。

第12回国際地学オリンピック大会に参加する日本代表生徒に高6の河村菜々子さん選ばれ、7月の大会での活躍が期待されています。多くの難関の大会を勝ち得たのは、先生とのあいから幼い時の関心が開花し、しかも独学での栄冠です。

愛知県より通学し剣詩武道でも活躍する高3の西浦碧さんは、官民協働海外留学支援制度トビタテ留学JAPAN日本代表プログラムに合格しフィリピンに留学が決定。目下、厳しい研修に励んでいます。

このように無限の可能性に向かつて、様々な分野に挑戦し、日々、努力精進されていることは、活気と魅力ある学校の一つの姿でもあります。先輩諸氏が構築されてこられた良き伝統と気風のおかげでもありますと痛感しております。

教育的環境の充実として第3体育館を新築。来年の春に完成予定で、規模は「そうだね」で話題となったカーリング競技の長さに匹敵する大きな施設です。中学のクラブ活動も

三重銀行へ一名、JAへ一名はじめ、地域の優良企業へ多く就職することができました。本学の規模からすれば過多とも思われそうな八名のキャリア支援のスタッフを置き、在学生のみではなく、卒業生に対しても同様の手厚い支援を心がけている結果であると、喜んでいくところでは、

次に入学者に目を転じますと、本年はこれも学科百六十名、キャリア育成学科オフィスワークコース六十九名、キャリア育成学科介護福

より盛んになるでしょうし、子どもたちの心身の鍛錬、育成に大きく機能すると楽しみにしています。

次に教育現場において大学入試改革や学習要領の改訂が進むなかでそれへの対応が求められています。また、ICTの教育の推進が叫ばれ、その導入が不可欠となりつつあります。本校も全館にプロジェクトを設置し、この夏にはWiFiを設置します。そして、高1、4年生はベネッセのクラッシーを導入採用し、入試改革に対応していきます。中学ではスマホを利用しグーグルの「G Suite」を活用しICT

教育の成果をより上げて行く計画です。教育の原点はあくまでも「フェイスアンドフェイス」だと思っておりますので、時代に流されることなく、子供たちの心身を健全に育て、いかなる時も平気で生き抜いていく力を養成することが肝要です。教職員自らが資質向上に励み、一致団結して教育に当たる所存です。

一度、是非、母校を訪ねて頂ければ幸いです。お待ちしております。

社コース十八名、合計二百四十七名を新入生として迎えました。これも学科とオフィスワークコースは順調な募集でしたが、介護福祉コースは、相変わらず厳しい状況が続いています。介護職が敬遠されてきた大きな原因の一つに、低賃金であったことが挙げられますが、最近はずいぶん改善されてきました。そのことも訴えてはならない人材である介護福祉士の養成に今後とも励む覚悟です。

社コース十八名、合計二百四十七名を新入生として迎えました。これも学科とオフィスワークコースは順調な募集でしたが、介護福祉コースは、相変わらず厳しい状況が続いています。介護職が敬遠されてきた大きな原因の一つに、低賃金であったことが挙げられますが、最近はずいぶん改善されてきました。そのことも訴えてはならない人材である介護福祉士の養成に今後とも励む覚悟です。

社コース十八名、合計二百四十七名を新入生として迎えました。これも学科とオフィスワークコースは順調な募集でしたが、介護福祉コースは、相変わらず厳しい状況が続いています。介護職が敬遠されてきた大きな原因の一つに、低賃金であったことが挙げられますが、最近はずいぶん改善されてきました。そのことも訴えてはならない人材である介護福祉士の養成に今後とも励む覚悟です。

社コース十八名、合計二百四十七名を新入生として迎えました。これも学科とオフィスワークコースは順調な募集でしたが、介護福祉コースは、相変わらず厳しい状況が続いています。介護職が敬遠されてきた大きな原因の一つに、低賃金であったことが挙げられますが、最近はずいぶん改善されてきました。そのことも訴えてはならない人材である介護福祉士の養成に今後とも励む覚悟です。

社コース十八名、合計二百四十七名を新入生として迎えました。これも学科とオフィスワークコースは順調な募集でしたが、介護福祉コースは、相変わらず厳しい状況が続いています。介護職が敬遠されてきた大きな原因の一つに、低賃金であったことが挙げられますが、最近はずいぶん改善されてきました。そのことも訴えてはならない人材である介護福祉士の養成に今後とも励む覚悟です。

樹心同窓会協力金にご賛同いただいた会員の皆様

●ありがとうございます●

(卒業年度順)

佐 脇 功 (高校S25)	山 中 正 美 (高校S41)	福 田 和 代 (短大S53)
藪 谷 為 雄 (高校S37)	川 村 きみ子 (短大S43)	藤 井 徳 雄 (高校S54)
坂 口 誠 (高校S37)	安 井 敏 明 (高校S44)	上 杉 義 磨 (中6S61)
長谷部 行 雄 (中3S38)	鷲 尾 尚 史 (中3S50)	梶 川 昌 孝 (中6H8)
川 西 みどり (中3S38)	樋 田 由 美 (短大S50)	田 丸 裕 巳 (中6H8)
清水谷 博 (高校S41)	西 秀 臣 (高校S51)	谿 花 正 由輝 (中6H8)
下 木 要 人 (高校S41)	田 口 恵美子 (高校S51)	中 井 義 典 (中6H8)
朝 妻 幹 雄 (高校S41)	長 井 一 哉 (中6S51)	伊 藤 亜 希 (中6H8)
中 村 禮 司 (高校S41)	海 野 香 (高校S52)	稲 葉 知 輝 (中6H8)
坪 井 節 (高校S41)	田 中 直 美 (短大S53)	竹 下 直 志 (高校H18)
松 尾 稔 (高校S41)	牛 場 智 栄子 (短大S53)	松 浦 紘 也 (中6H18)

協 賛 企 業 一 覧

(五十音順)

名 称	名 称
愛 知 (株)	東 邦 ガ ス (株) 三 重 支 社
ア イ ン ズ (株)	ス ー パ ー ニ シ イ
荒 川 制 服 (株)	日 東 カ ス ト デ ィ ア ル ・ サ ー ビ ス (株)
伊 藤 印 刷 (株)	(有) 博 進 堂 津 本 店
津 伊 藤 販 売 店	(株) 白 揚 ブ ッ ク セ ン タ ー
レ ン タ ル ド レ ス 衣 舞	写 真 の は せ
S P 企 画	長 谷 川 体 育 施 設 (株)
岡 三 証 券 (株)	(有) 樋 口 商 店
岡 写 真 館	(株) 百 五 銀 行
(株) オ リ エ ン タ ル	(株) ヘ ル シ ー フ ァ ミ リ ー
近畿日本ツーリスト(株)津営業所	富 士 ゼ ロ ッ ク ス 三 重 (株) 津 営 業 所
コカコーライーストジャパン(株)	藤 原 工 業 (株)
三 和 書 店	(株) 武 道 東 海
(株) シ ス テ ム テ ク ノ	ブ リ ク ス ト ン
シ ン リ ョ ー 特 機 (株)	(株) フ レ ン ド ヤ マ ザ キ シ ョ ッ プ
鈴 木 商 事	プ ロ フ ォ ー ト コ バ ン
(株) Z T V	(有) 平 治 煎 餅 本 店
瀧 本 (株)	別 所 書 店
千 卷 印 刷 産 業 (株)	ポ ッ カ サ ッ ポ ロ フ ォ ー ド & ビ バ レ ッ ジ (株)
(株) 中 京 銀 行	本 の 王 国
(株) 中 部 都 市 建 築 設 計 事 務 所	三 重 興 業 (株)
(株) 津 ド ラ イ ビ ン グ ス ク ー ル	三 重 交 通 (株)
(株) 辻 工 務 店	三 重 テ レ ビ 放 送 (株)
筒 井 印 刷 (有)	三 重 ト ヨ タ 自 動 車 (株) 津 桜 橋 店
東 海 土 建 (株)	ミ ヤ タ ス ポ ー ツ
東 邦 ガ ス エ ン ジ ニ ア リ ン グ (株)	山 本 嘉 雄 事 務 所

昨年本紙で、強化指定クラブである女子バレーボール部が、一昨年度「東海大学男女バレーボールリーグ」で四部から一気に一部に駆け上がったことをご報告しました。昨年度は、八チーム中、短大は本学のみこの一部リーグで、春季は四位、秋季は三位の成績をおさめることができました。また、「三重県学生男女バレーボールリーグ」では、春季・秋季ともに一部リーグで優勝を果たしました。この功績を讃え、活躍した卒業生に、卒業証書・学位記授与式において、学長賞を授与いたしました。

さて、教学面におきましては、一昨年三月に「学校教育法施行規則」の一部が改正されまして、大学や短期大学は、三つの方針、つまり「卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)」「教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)」「入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)」を策定することが義務付けられました。それに伴い、中央教育審議会大学分科会大学教育部会からは、これらを策定し、運用するためのガイドラインも発表されました。

大学教育の内部質保証のために、三つのポリシーを策定してそれに基づく教育を実施することの重要性は以前から言われており、ほとんどの大学で策定はしていたわけですが、中には形だけ整えたもの、三つがばらばらで統一性に欠いたものも多くありました。そこで今回、これらを一体的に、実質的に策定し、実際の教育に相応したものにしよというところで、法律の改正にいたったという事です。

また、本年度よりLMS(学修管理システム)として、「manaba」を導入しました。このシステムによって、学生は、自分の学修を自分自身で管理することができるようになります。学修情報はクラウドの形態で提供される、いわゆるクラウドサービスによつていますから、学内だけでなく、インターネットに接続できる環境があれば、いつでも、どこでもアクセスすることができ、授業の教材や資料を、このシステムから得たり、授業に関する情報を双方方向でやりとりできます。manabaに提出されたレポート課題に、教員はコメントをつけて返すこともできます。manabaには学

びの履歴が蓄積されますから、自らの学修成果を、自分自身で可視化されたデータとして確認することができますようになります。また、授業時間外の学修を支援し、学生の主体的な学びを促進します。manabaは、より深い学修を促進するとともに、その成果を見える化してさらに次へのステップを目指す有用なシステムです。

新しい学修環境の下、学生一人ひとりが、より深く学び、着実に成果を身につけていくことを願っています。

同窓生の皆さまにおかれましては、今後とも、本学の教育をご理解いただき、ご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。



新任教職員紹介

- 一、氏名
- 二、担当教科
- 三、担当部活動
- 四、趣味・特技
- 五、着任のことば

か宜しく御願ひ致します。

中・高等学校

- 一、印南 勇吾
- 二、中学校二年
- 三、馬術部
- 四、ベランダ菜園
- 五、四月から高田学苑でお世話になっております。教科は主に中学二年生の表現及び古典を、部活動は馬術部を担当しています。着任してから迷惑のかけ通しの毎日ですが、先生方の情熱的な御姿を拝見するにつけ、また子ども達の素直でひたむきな様子にふれるにつけて、皆様方に及ばないながら、私の中にも新たな熱意が湧き起るのを感じております。社会の高度情報化はとどまることなく進みつつけています。しかし豊富な情報は個人の精神を豊かにするどころか、覆い潰していくように思えます。微力ではありますが、子どもたちの豊かな精神を作る基盤となる「国語力」をはぐくんでいけるよう、また高田学苑の伝統と歴史をけがさないよう誠心誠意努めますので、ご指導ご鞭撻の程どう

- 一、百地 拓也
- 二、高校II年生
- 三、硬式テニス部・書道部
- 四、趣味は野球観戦。
- 五、本年度より高田中・高等学校でお世話になっております。担当教科は、国語と書道で、担当部活動は硬式テニス部と書道部です。母校であるこの学苑で教鞭を執ることは念願であったため非常に光栄でもあり身が引き締まる思いです。この素晴らしい環境、そして素晴らしい先生方に囲まれた場所であることのできる機会をいただけたことに感謝の思いでいっぱいです。教員一年目ということに慣れないこと、至らないことなど多くあると思います。しかし、何事にも全力で取り組み、生徒たちの学苑生活がより豊かで、実りのあるものとなるようサポートしていきたいと思っております。今後ともご指導のほど宜しく御願ひ致します。

- 一、前田 一樹
- 二、生徒指導部 社会科
- 三、映画鑑賞、旅行
- 四、本年度より、ご縁あつて母校である高田学苑でお世話になっております。歴史と伝統のある高田学苑で勤務させていただくことになり、有り難く感じております。学

- 一、橋本 昌昂
- 二、理科(物理)、高校I年副担任
- 三、高校バスケットボール部顧問
- 四、風景写真
- 五、初めまして、本年度より高田学苑でお世話になっております。私は数年前に卒業した者ですが、在学時より教員となって戻ってくるのが夢でした。今回、このような機会を頂けて感謝の気持ちでいっぱいです。勿論、教員として戻ってきて終わりではなく、むしろ、ここからが始まりだと思っております。これからは今まで以上の努力を重ね、皆さんと向き合っていきたいと思っております。途中で様々な問題に直面すると思います。ただ、成長するためには壁を乗り越える必要があります。

- 一、黒田 みのり
- 二、英語
- 三、映画鑑賞、旅行
- 四、本年度よりご縁ありまして高田学苑でお世話になっております。歴史と伝統のある高田学苑で勤務させて頂き有り難く、光栄に思っております。前職は教育とは異なる分野にいたが、着任から二ヶ月程経ちましたが、まだまだ慣れないことばかりで、諸先生方が情熱をもって生徒に対して指導されるお姿に刺激をうけながら日々学ばせていただいております。今までの自分の経験を活かし、微力ではございますが、こちらの学苑の役に立てるよう精進していきたいと思っております。未熟な部分が多く色々とご迷惑をおかけしますが、ご指導ご鞭撻のほど宜しく御願ひ致します。

- 一、伊藤 典代
- 二、国語科
- 三、読書、神社仏閣史跡散策
- 四、本年度より、母校である高田学苑でお世話になっております。着任から、早くも一ヶ月半が経ち、教室の窓から望む本山の森の萌葱色が目映い季節になりました。二十四節気の小満は、草木が茂るという意味で、すべてのものが次第に成長し、満ち始める時節です。生命漲る緑を見ると、自ずと勇気が沸いてきます。先日、田植えを終えたばかりの水田に聞く蛙の声に「蛙の語源は『帰る』、蛙には帰巢習性があるから。」と話してくださったのは高校時代の恩師だったなと、ふと思ひ出しました。縁あつてこうして母校に帰ってくることにになり、記憶の彼方の出来事が思い出されます。同時に、身の引き締まる緊張感を感じます。至らぬ点も多く、ご迷惑をおかけすると思ひますが、日々精進し頑張る所存でおります。どうぞ、ご指導の程よろしく御願ひいたします。
- 一、望木 博史
- 二、非常勤講師(国語)
- 三、音楽・絵画・舞台鑑賞
- 四、本年度より非常勤講師としてお世話になっております。この伝統と歴史ある学苑で中学生時代を過ごし、今また教員として戻って来たことにご縁を感じ、深い感慨を覚えました。

着任してまだ日も浅いのですが、恵まれた学習環境の中で学業に積極的に取り組む生徒たちと、日々情熱を持って丁寧な指導をされている先生方の姿を目にして、教育の理想の姿がここにあると感じます。また、中学・高校という多感な時期に仏教教育を受けることは、その後のより豊かな人間性の形成へとつながり、大きな意味をもつものだと思います。

夢であった母校の教壇に立たせていただき、喜びと感謝の気持ち胸に日々過ごさせていだいておられます。私にとって高田学苑での高校三年間は輝かしい思い出であり、現在でも心の支えとなっております。私が自信を持つことができたのは、熱心にご指導してくださった先生方と出会えたことです。

本校苑で、保育者を目指す学生への教育と研究する機会を与えていただきましたこと、また育児文化研究センター運営委員として、地域の子育て支援活動へも参加をさせていただけに深く感謝しております。このご縁を大切に、日々精進してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

させていただくこととなりました。私は高田高校・高田短大の卒業生です。前職は、高齢者施設での介護職や、音楽療法士として高齢者の集団セッション及び障害児の個人セッションなどを行い、音楽療法や介護の普及啓発に努めて参りました。また、本学での特別授業や介護福祉セミナーの講師としてお声かけいただき、本年度より助教として本学に戻ることができ、光栄に思っております。

な保育者として社会で活躍できますよう学生を支援していきたいです。そのためにも自分自身もまた、学びを広げ励んでいきたいと思っております。どうかよろしくご指導のほど、お願い申し上げます。

一、東 悦子

二、高等学校

四、読書、パン作り

五、本年度より、高等学校で英語の非常勤講師としてお世話になっております。歴史と伝統のある本校で働ける機会を与えていただいたことに深く感謝するとともに、大きな責任を感じております。至らない点多々あるかとは思いますが、誠心誠意努めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いたします。

一、瀬戸 嘉一

二、保健体育

三、中・高柔道部

四、横浜 DeNA ベイスターズ・歴史

五、本年度より高田学苑にてお世話になっております。

短 大

一、榎原 尉津子

二、子ども学科

四、趣味 スキー、御朱印集め

特技 モダンバレエ、新体操

五、ご縁があり、本年度より子ども学科でお世話になっております。ちょうど八年前、二十年間務めさせていただいた本学苑での教育職を人生の一区切りという思いから退職をいたしました。他の大

学とのご縁があり、県内外の大学で小学校・幼稚園教諭、保育士を目指す学生への教育に携わっております。

そして再び、歴史と伝統のある

一、山下 道世

二、キャリア育成学科

四、写真

五、ご縁があり、本年度より高田短期大学キャリア育成学科でお世話になっております。このような貴重な機会をいただき、誠にありがとうございました。以前は鈴鹿医療科学大学で英語の非常勤講師をさせていただいておりました。こちらに来てからは、ゼミナールの担任や委員会での役割など、初めて経験させていただきましたことも多く、手探りの毎日です。教職員の皆様のお借りしながら、少しでも早く学生さんをはじめ、本学の皆様のお役に立てるよう、より一層精進してまいります。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願申し上げます。

一、金森 まさ子

二、子ども学科

四、編み物、美術館巡り

五、本年度より子ども学科で講師としてお世話になっております。

前職は、公立幼稚園に勤務しておりました。現場での経験を活かして、保育内容の実践や子育て支援について学生に伝え、質の高い保育者の育成に努めてまいりたいと思っております。

また、本学が行っていますきめの細かいキャリア支援、学生への援助は一人一人を大切にしたい保育と同じであると感じます。教職員の皆様と力を合わせ、人間性豊か



一、佐波 睦巳
 二、キャリア支援センター
 四、旅行、音楽鑑賞
 五、四月からキャリア支援センターで就職支援の担当をしております。

私は昭和五十一年に本学苑を卒業させていただきました。毎月の本山参詣、仏教の授業、体育での行進練習等が懐かしく思い出され、丸刈りで過ごした三年間の教えや体験が今の私の大きな財産となっております。

社会人になってからは、六十歳の定年まで百五銀行で働いておりました。営業店・本部経験を通じて、人を育てること、信頼を得ること、真面目に取り組むことの大切さを学んできました。これらの経験を生かして学生の成長に繋がるお手伝いをしていきたいと思っております。

六十歳からの多くの人々との出会いに感謝しながら、日々誠実に取り組んでいきますので、よろしくお願ひ致します。

一、前田 美菜子
 二、キャリア支援センター兼育児児文化研究センター
 四、テニス
 五、本年度四月より、母校である高田短期大学にお世話になることになりました。

保育園の先生になることを夢を見て勉強した学生時代のことを日々懐かしく思い出しております。自然豊かで環境の整った高田短大で幼稚園、保育園に勤務希望の

学生の皆さんの就職の支援、そして地域で子育てされている保護者様のための育児文化研究センターのひろばスタッフもさせて頂きま

す。今の保育ニーズに柔軟に対応できるような人材の育成が出来るよう学生と共に学んでいきたいと思っております。今後ともご指導のほどよろしくお願ひ申し上げます。

一、草深 ことみ
 三、バレーボール部外部指導員
 四、趣味はゴルフです
 五、本年度より高田短期大学バレーボール部でお世話になっております。昨年、高田短期大学を卒業し現在は、三重県体育協会に勤務しています。

私自身、高田短期大学で様々なことを学び、部活動もたくさん応援して頂いていたことに感謝の気持ちでいっぱいです。このようにまた、高田短期大学の一員として携わることが出来ることを光榮に思っております。バレーボールの指導を通して、今までの恩返しをするとともに、高田短期大学の発展に貢献していけるように務めて参りますので、どうぞよろしくお願ひ致します。



進路指導

高校進路指導部

平成29年度生は、三年制I類225名、II類167名の合計392名、6年制193名が卒業しました。平成30年度入試の合格者数および就職決定先を既卒者を含めまとめましたので、ご報告します。

進路状況

平成30年度入試の全体・3年制・6年制の進学結果は、次の通りです。

平成30年度入試進路状況 (延べ数)

平成30年4月

	三年制				小計	六年制		小計	合計
	I類		II類			現	卒		
	現	卒	現	卒					
四年制大学									
国公立	0	0	9	1	10	66	32	94	108
私立	0	0	11	1	12	13	3	12	28
文部科学省所管	161	3	227	30	421	259	127	386	807
海外	0	0	0	0	0	3	0	3	3
海大	0	0	0	0	0	0	0	0	0
短大	4	0	17	0	21	0	0	0	21
公立	43	1	4	0	48	0	0	0	48
国公立各種・専門学校	3	0	4	0	7	0	0	0	7
私立各種・専門学校	48	0	12	0	60	0	0	0	60
就職	5	0	3	0	8	0	0	0	8

過去5年間の合格者推移

	H26	H27	H28	H29	H30
卒業生	333	412	426	374	392
国公立大学	18	13	28	37	22
私立大学	361	477	448	445	421
短期大学	58	77	84	48	69
各種・専門学校	74	56	88	54	60
就職	7	3	12	2	8

○三年制
 主な大学進学先
 富山大学 2名
 三重大学 5名
 和歌山大学 1名
 愛媛大学 1名
 会津大学 1名
 三重県立看護大学 2名
 青山学院大学 1名
 法政大学 1名
 愛知大学 5名
 中央大学 26名
 南山大学 3名
 名城大学 17名
 皇学館大学 56名
 同志社大学 3名
 立命館大学 3名
 高田短期大学 37名

過去5年間の合格者推移

	H26	H27	H28	H29	H30
卒業生	190	213	188	194	193
国公立大学(全体)	132	132	120	106	114
国公立大学(現役)	95	103	92	89	79
私立大学	436	531	391	396	386
医学部(私立大学)	70	103	76	71	66

は昨年度に比べ厳しい結果になりました。今年度は更に難化することが予想されますので、その点を鑑みて進路指導を行っていききたいと思います。

○六年制
 主な大学進学先
 東京大学 8名
 一橋大学 3名
 名古屋大学 10名(医学科1名)
 三重大学 27名(医学科13名)
 京都大学 5名
 大阪大学 3名
 慶應義塾大学 3名
 早稲田大学 11名
 同志社大学 4名

首都圏を中心とする大規模大学の定員抑制により、全国的に大学入試が難化しました。その結果、本年度

三年制と同じ原因のため、本年度は昨年度に比べ厳しい結果になりました。

中・高部活動

■中・高柔道部

平成三十年度部員数

中学生	3年生	男子1名
	1年生	女子1名
高校生	Ⅲ年生	男子8名
		女子2名
	Ⅱ年生	男子2名
		女子1名
	Ⅰ年生	男子6名
		女子5名
	5年生	男子2名
		女子1名
		計29名

最近の諸大会成績(上位入賞のみ)
中学生の部
三重県中学校体重別選手権大会
男子個人66kg級
優勝 3年 木村 玄紀

高校生の部
三重県高校柔道選手権大会
男子団体 2位
三重県高校総体柔道競技

男子団体	3位(東海総体出場)
男子個人	
60kg級	5位 Ⅲ年 伊藤 良真
73kg級	5位 Ⅲ年 柴田 周吾
90kg級	5位 Ⅲ年 堀口 晃大
90kg級	5位 Ⅱ年 渡邊 敦也
100kg級	
5位	Ⅲ年 加戸 亜門
女子個人体重別	
2位	Ⅲ年 齋藤 南帆

(東海・全国総体出場)

2位 Ⅰ年 伊勢谷晏未
(東海・全国総体出場)

平素は、学苑をはじめ、OB・OGの皆様、保護者の皆様よりご理解、ご協力、ご支援を賜り誠に有り難うございます。

今年度は東海総体・全国大会に二年ぶりに出場することとなり。また、過去最多数の選手が出場することにもなりました。この結果に満足すること無くさらに日々精進し、全国、世界に高田の名を轟かせたいと思います。

今後も変わらぬ応援を宜しくお願い致します。

■中・高剣道部

「支えてくださった全ての方に感謝すると共に、仲間を信じ、自分を信じ、正々堂々と戦うことを誓います。」

今年のインターハイ予選で、主将の山口颯太が宣誓した言葉です。今年の三年生は、たった二人でした。少ない人数の中でも毎日稽古に励みました。そうしたら、沢山の先生方が練習試合に呼んでくださいました。絶対に稽古を休みませんでした。そうしたら、二年生、一年生合せて十七人の後輩が来ました。その後輩の中には中学時代にタイトルをもっている者が何名おり、レギュラーの座があやうくなりました。そうしたら、二人に意地が芽生えまし

た。レギュラーの座を守り、やっと、チームがチームらしくなるとき、第一シードの真下を引く・・・という大失態をおかしました。(くじなので仕方が無いのですが)そうしたら、チームが一つになりました。相手チームが決まってきたから練習は、本当に楽しかったです。やはり、負けてしまいました。立派な試合だったと思います。

宣誓の言葉は一見、ありきたりの言葉かもしれませんが、まさに彼らの高校剣道をあらわす全てであったと思います。

日頃より、稽古に来てくださる先輩方、本当にありがとうございます。部員、顧問共々、心身共に成長出来るよう切磋琢磨すると共に、正しく、厳しく、楽しく剣道を学ぶ所存です。今後とも、お力添えいただきますようよろしくお願いいたします。

■中・高馬術部

馬術部は高校生十四名、中学生十名の計二十四名で活動しています。

昨年度は保護者・OBの方々のはじめとした皆様方のご声援の下で、国体への参加(S&H競技・十七位)及び全国大会での準優勝(団体戦)を成し遂げることができました。

昨年度に引き続き三重県の強化指定運動部に指定していただきましたが、今年度は三年生不在という苦しい状況であり、個人の力不足は否めません。しかし、新しい主将を中心にチームワークを重視し、一人と一人だけで生み出せない大きな力を産み出せるよう、日々声をかけあいながら練習に励んでおります。

そして六月九日に全国大会出場をかけた愛知県森林公園乗馬施設で行われた予選では、団体戦が四位、個人戦は一名が優勝という好成績で通過することが出来ました。

馬術は一人で行うことが文字通り不可能なスポーツです。人馬一体の境地に至るためには、当然日常生活においても思いやりや公共心を保ち続ける必要があります。まだまだ不安材料も多ありますが、日常、部活ともに「当たり前のことを当たり前にする」というモットーの下、日本一のチームを目指して精進を重ねていく所存です。

今後も高田学苑馬術部の伝統をけがさぬよう、努力を続けて参りますので、OBの皆様、同窓会員の皆様方の変わらぬご声援のほど、これからも平に宜しく御願いたします。

■中・高箏曲部

箏曲部は現在、高校三年生四名、二年生九名、一年生二名、中学三年生十四名、二年生八名、一年生十一名」の計四十八名で活動しています。

月曜日から金曜日の放課後に練習があり、水曜日と金曜日には外部指導者の先生に来ていただき指導をしていただいています。今年も新入部員が入部し、力を合わせて演奏できるように毎日練習に励んでいます。

昨年度、三重高等学校日本音楽演奏会に出場しました。高校一年生にとっては、この演奏会が初めての大舞台であり、不安や緊張、そして期待を抱きながら演奏会まで毎日練習を重ねました。練習では部員全員がそろわないことも多かったこともあ

り、なかなか上手に演奏することができず焦りを感じることもありましたが、しかし指導者の先生が根気強く教えてくださり、部員同士で声を掛け合いながら心を一つにして頑張りました。その結果、本番では部員全員が団結しこれまで一番良い演奏をすることができました。そのため二位という素晴らしい結果を残すことができました。その結果を受けみえ高文祭の部門代表としての出場が決まりました。しかし昨年は台風の影響もあり、みえ高文祭は中止となったため大変残念な思いをいたしました。それでも高文祭出場の権利を得たことは部員全員の自信となる経験となりました。私たちはこの経験から部員が一丸となって団結する難しさ喜びを学びました。そして何より仲間がいれば、その困難はきっと乗り越えることができるのだと学びました。

今年も日本音楽演奏会に出場し、いい結果につながるような演奏を目指しています。その演奏会に向けて、部員一同力を合わせて、日々練習を積んでいきたいと思えます。



クラブ成績表(中学校)

【ソフトテニス部】			
◎津市中学校夏季総合体育大会			
ソフトテニス競技 女子個人の部	第3位	3年d組 3年e組	紀森 平・ 川ベア
◎みえスポーツフェスティバル			
ソフトテニス中学生 10人テニス女子の部	第3位	高田中学校B	
	準優勝	高田中学校A	
ソフトテニス中学生 10人テニス男子の部	優勝	高田中学校 3年生チーム	
	第3位	高田中学校 2年生チーム	
◎平成29年度 津支部ソフトテニスシングルス大会			
	優勝	2年a組	豆田 隆晟
【個人表彰】			
◎三重県中学校水泳競技大会			
女子200m個人メドレー	第4位	2年a組	北川 水都
女子400m自由形	第5位	2年a組	北川 水都
◎第69回三重県中学校学年別水泳大会			
女子2年生 400m自由形	3位	2年a組	北川 水都
女子2年生 200m自由形	5位	2年a組	北川 水都
女子1年生 50m自由形	4位	1年a組	原口 綾華
女子1年生 100m自由形	5位	1年a組	原口 綾華
◎第63回青少年読書感想文三重県コンクール地区審査			
市特選	2年a組	大谷 夏鈴	
	2年c組	水野 亜美	
市入選	3年d組	坂部 有里	
	1年e組	亀谷 柊瑠	
中地区入選	3年b組	吉田 千夏	
	3年b組	伊藤 弘晃	
	2年c組	前川 陽香	
	2年b組	川島 美咲	
	2年d組	松本 玲香	
	1年a組	大井 華実	
	1年b組	伊藤 優衣	
	1年c組	川本 里奈	
	1年d組	福家 伊織	
	◎第21回日本ジュニア数学コンクール		
団体戦	優良賞	高中グループ	
◎生命保険文化センター主催 第55回中学生作文コンクール			
都道府県別賞 三重県一等	1年c組	小林 美月	
◎第37回全国中学生人権作文コンテスト			
優秀作品	3年e組	田中 優芽	
	3年a組	大石 瑞貴	

中学女子低4×100mR	第3位	2年e組	鈴木 聖菜
		1年b組	伊藤 優衣
		1年c組	神尾華乃愛
		2年e組	森 一恵
◎第70回三重県中学校陸上競技大会			
男子800m	第6位	3年e組	山路 湧暉
◎平成29年度津市中学校駅伝競走大会			
第1区	区間賞	3年e組	山路 湧暉
◎津市中学校駅伝競走大会			
	準優勝	高田中学校	
◎第38回三泗長距離選手権大会			
中学男子3000m	第5位	3年e組	山路 湧暉
【バレーボール部】			
◎第19回みえスポーツフェスティバル バレーボール競技			
中勢ジュニア選抜	地区選抜 選手認定	2年d組	山下 遥香
【馬術部】			
◎みえスポーツフェスティバル			
小障害飛越競技C-I	第1位	3年b組	福森 涼香
STARTER CLASS I	第3位	2年e組	奥田 記枝
	第1位	2年d組	中尾 真子
小障害飛越競技C	第1位	3年b組	北野 拓海
小障害飛越競技C-II	第1位	3年b組	福森 涼香
STARTER CLASS II	第3位	2年e組	奥田 記枝
	第1位	2年d組	中尾 真子
小障害飛越競技C	第1位	3年c組	藤原 仁
◎2017 ジャンピングインミエ			
小障害飛越競技C	第2位	3年c組	藤原 仁
	第3位	3年c組	藤原 仁
小障害飛越競技B	第3位	3年b組	北野 拓海
STARTER CLASS I	第1位	2年d組	中尾 真子
	第2位	2年e組	奥田 記枝
	第3位	2年e組	奥田 記枝
小障害飛越競技C-I	第1位	3年b組	福森 涼香
【なぎなた部】			
◎平成29年度 津市民体育大会 なぎなた競技			
中学生試合の部	第1位	3年c組	高林 由珠
	第2位	3年a組	脇田 悦
中学生演技の部	第2位	2年b組 3年c組	町田 梨乃 高林 由珠 組
	第3位	1年b組 3年a組	徳安佑美佳 脇田 悦 組

平成29年度

【陸上競技部】			
◎第63回全日本中学校通信陸上競技大会 三重大会			
男子1年100m	第4位	1年c組	水谷 玲仁
男子1500m	第8位	3年e組	山路 湧暉
男子1年1500m	第6位	1年c組	横元 陽大
男子2年1500m	第7位	2年c組	吉田 亘
◎第49回鈴鹿市陸上競技選手権大会			
中学男子1年100m	1位	1年c組	水谷 玲仁
中学男子1年100m	7位	1年d組	西村 和将
中学男子800m	5位	3年e組	山路 湧暉
中学女子1年800m	3位	1年c組	神尾華乃愛
中学男子1年走高跳	7位	1年b組	中埜 将吾
中学男子1年走高跳	3位	1年e組	野内 日出
中学男子1年走高跳	2位	1年b組	高橋 真央
中学男子1年1500m	1位	1年c組	横元 陽大
中学男子400m	3位	3年a組	川尻 功陽
中学男子3000m	3位	3年e組	山路 湧暉
中学男子3000m	6位	2年c組	吉田 亘
◎平成29年度 津市中学校陸上競技大会			
男子200m	2位	3年a組	川尻 功陽
男子800m	2位	3年e組	山路 湧暉
男子400m	1位	3年a組	川尻 功陽
3000m	1位	3年e組	山路 湧暉
3000m	3位	2年c組	吉田 亘
◎第38回三重県ジュニアオリンピック			
男子C 100m	第3位	1年c組	水谷 玲仁
男子C 1500m	第4位	1年c組	横元 陽大
男子B 1500m	第8位	2年c組	吉田 亘
◎平成29年度 津市民体育大会 陸上競技			
中学男子3000m	第2位	2年c組	吉田 亘
中学男子3000m	第1位	3年e組	山路 湧暉
中学男子400m	第1位	3年a組	川尻 功陽
中学男子100m	第2位	3年a組	川尻 功陽
中学女子200m	第3位	3年a組	神尾咲々愛
中学女子2000m	第3位	2年e組	鈴木 聖菜
中学男子 ジャベリックスロー	第3位	1年d組	西村 和将
中学男子4×200mR	第2位	3年a組	川尻 功陽
		1年c組	水谷 玲仁
		1年d組	西村 和将
		2年b組	多湖 友星

◎第13回 津シティマラソン大会			
5 km 男子中学生	第2位	3年 e組	山路 湧暉
◎第34回三重りレーカーニバル			
中学男子1500m	第8位	3年 c組	吉田 亘
【バレーボール部】			
◎高田杯・津市中学校女子バレーボール部交流試合			
	優勝	高田中学校	
【ソフトテニス部男子】			
◎平成30年度津支部春季ソフトテニス大会			
個人の部	優勝	3年 a組	豆田 隆晟
【柔道部】			
◎第49回三重県中学生柔道体重別選手権大会			
男子66kg級	優勝	3年 a組	木村 玄紀
【個人表彰】			
◎第38回三重県小中学校書初め展			
第2学年	特選	2年 a組	丸山 弥子
	特選	2年 c組	米村くる美
◎第63回青少年読書感想文全国コンクール			
中学校の部	入選賞	2年 a組	大谷 夏鈴
	入選賞	2年 c組	水野 亜美
◎第61回全国学芸サイエンスコンクール			
読書感想文部門 中学生の部	庶社 特別賞	1年 c組	川本 里奈
	努力賞	1年 b組	前田あずみ
◎第12回「ふるさとを詠う」短歌コンクール			
中学生の部	美浜町 教育委員会賞	2年 b組	宮口 紗良
◎第10回田辺聖子文学館ジュニア文学賞			
エッセイ部門 中学生の部	佳作	3年 a組	米津 慧
【剣道部】			
◎春季剣道大会			
男子団体の部	準優勝	高田中学校	
男子個人の部	第3位	3年 d組	石須 永哲
◎第59回先賢彰徳三重県剣道大会			
中学男子の部	第3位		
【科学部電気班】			
◎第18回全国中学生「創造ものづくり教育フェア」			
創造アイデアロボット コンテストの部	特許庁 長官賞	3年 a組	寺田 博英
		3年 b組	今津皓太郎
		3年 d組	酒徳 拓実
		3年 e組	岩倉 光佑
		3年 e組	奥地 啓太
		3年 e組	疋田 顕嗣
◎第22回熱田の森ロボット競技会			
歩行ロボット徒競走 競技部門	特別賞	3年 e組	岩倉 光佑
		3年 b組	近藤 康行

中学生部門	優良賞	3年 c組	草川 優斗
◎第12回皇學館中学校・高等学校 英語スピーチコンテスト			
中学生の部	優勝	2年 b組	宮口 紗良
◎桜井市子ども短歌大会			
佳作		2年 b組	宮口 紗良
【剣道部】			
◎夏季総体			
剣道競技男子個人戦	3位	2年 e組	石須 永哲
剣道大会	優勝	3年 d組	篠原 優輝
		2年 e組	石須 永哲
		1年 a組	稗田久寿都
		3年 b組	緒方理一郎
		3年 b組	仲尾 佳祐
剣道競技男子団体	優勝	高田中学校	
剣道競技	優勝	高田中学校	
◎三重県中学校剣道大会			
優秀選手賞		3年 b組	緒方理一郎
男子団体	第三位	高田中学校	
【科学部電気班】			
◎CU-Robocon WRO Japan2017 東海地区予選会			
中学生ミドル競技部門	3位	3年 e組	奥地 啓太
		3年 a組	寺田 博英
◎第14回中学生技術・家庭科創造アイデアロボット コンテスト三重県大会			
応用部門	準優勝・ 技術賞	3年 b組	今津皓太郎
		3年 e組	奥地 啓太
応用部門	優 勝 ロボコン 大賞	3年 a組	寺田 博英
		3年 e組	岩倉 光佑
	審査員 奨励賞	2年 a組	賀登翔一郎
		2年 c組	松尾 淳仁
		2年 d組	林 東吾
		2年 e組	吉村 悠汰
◎第12回全日本小中学生ロボット選手権			
中学生部門	第二位 実行委員会 副会長賞	3年 e組	岩倉 光佑

平成30年度

【陸上競技部】			
◎第19回三重タスキリレー			
中学生男子の部	第5位	2年 c組	吉田 亘
		1年 a組	後藤 慧
		1年 b組	矢崎 瑠歩
		1年 a組	堀内 力巴
		1年 c組	横元 陽大

◎第46回佐佐木信綱顕彰歌会				
中学生の部	佳作	2年 a組	大川 美咲	
		2年 c組	秋本 菜緒	
		2年 c組	松尾 淳仁	
		3年 c組	伊藤 鴻司	
◎第63回青少年読書感想文全国コンクール 三重県審査				
最優秀賞	2年 a組	大谷 夏鈴		
	2年 c組	水野 亜美		
◎第14回琵琶湖・淀川流域 水の作文コンクール				
流域賞	1年 e組	亀谷 柊瑠		
◎第39回全日本中学生水の作文コンクール				
佳作	1年 e組	亀谷 柊瑠		
	1年 b組	前田あずみ		
	1年 a組	丸尾遼太郎		
◎第13回読売防犯川柳コンテスト				
最優秀賞	2年 b組	宮口 紗良		
◎芭蕉翁献詠俳句				
児童生徒の部	入選	2年 b組	宮口 紗良	
◎第6回～家族を歌う～河野裕子短歌賞				
青春の歌部門	入選	2年 b組	宮口 紗良	
◎第67回全国小・中学校作文コンクール 三重県審査				
最優秀賞	2年 c組	大門 詩歩		
優秀賞	3年 a組	寺尾 日那		
	3年 a組	三輪ひなた		
	1年 e組	石河 和花		
◎平成29年度 税についての中学生の作文				
三重県教育委員会賞	3年 b組	伊藤 弘晃		
津税務署長賞	3年 b組	向原 樹映		
津市教育委員会賞	3年 e組	田中 優芽		
中勢納税貯蓄組合連合会会長賞	3年 d組	木下 颯汰		
優秀賞	3年 b組	福森 涼香		
	3年 a組	大石 瑞貴		
	3年 c組	野内 爽子		
佳作	3年 b組	長倉 諒弥		
	3年 a組	谷田 映月		
	3年 c組	山下 陶子		
◎第17回読書感想文「こころの木」				
中学生部門	こころの 木賞	1年 e組	橋本 史章	
		2年 b組	勝又 日陽	
		2年 b組	北村 彩夏	
		3年 d組	酒徳 拓実	
		優良賞	1年 a組	山内 康平
		優良賞	2年 a組	井上 暖

■中・高将棋部

高田高校は、四月三十日に行われた第五十四回全国高等学校将棋選手権大会三重県予選において、男子団体、女子団体ともに準優勝でした。

また、高田中学は五月二十日に行われた第十四回中学校将棋団体戦において準優勝、三位という結果でした。すべての大会において優勝を目指し取り組んできた団体戦でしたが、勝つことが出来ず悔しい思いをいたしました。ただ、生徒達は次の大会にむけて一生懸命練習を行っています。

将棋部の活動は、放課後二時間の練習を毎日行っています。中学生、高校生の区別もなく次の大会に向けて実践中心の練習を行い、対局後はお互いの良かったところや、悪かったところなどを確認しながら試合で勝つことを目標に検討を行っています。今年度は中学生、高校生ともに部員数が増え、中学生二十七名、高校生三十五名の計六十二名の部員がいます。女子部員については初心者ですが、基本から熱心に学んでいます。また、土日には他の学校の生徒たちと練習試合を行うなど、棋力の向上に向け努力を重ねています。

■中学ソフトテニス部

【男子】男子の部員数は三年生七人、二年生十一人、一年生三人の計二十一人います。今年、テニスが出ることに感謝することをモットーとして、基礎練習から行ない少し実践的なものを混ぜて毎日土日練習しています。また今年度は人数なので部員全員がコートに入って練習しています。練習中は集中し練習の合間には雑

談をし、切り替えをきちんとし、一つ上を目指して常に強くなるために練習しています。

また年に二回程、外部から講師を招き厳しい指導を受けたり、月に二回程行なわれる練習試合では自分の練習の成果と実力を計ったりと、上達するための機会をたくさんもらっています。

これらの厳しい練習に耐えて努力を続けた結果、ガーデンカップ予選準優勝、津支部秋季大会県大会出場、シングルス地区予選優勝、津支部秋季大会個人戦優勝県大会出場などの成績を収めました。夏の団体戦では県大会出場、個人戦では連覇を狙い、また県大会でも一つでも多く勝っていくことを目標としています。自分たちが周りの人に支えられている事を忘れずに。

先輩方におかれましてはお忙しい毎日とは存じますが、ぜひコートに来て、アドバイスなどをしていただきたいと思います。部員一同お待ちしております。

副キャプテン 近藤康行

【女子】私たち中学女子ソフトテニス部は三年生七人、二年生十七人、一年生十一人の合計三十五人で活動しています。二年生は人数が多い中、うまくコミュニケーションをとり、交代で一年生にボールの打ち方やコツを教えています。一年生は徐々にですがボールがうまくなっていくようになり、部活にも馴染んできました。三年生はそれぞれ自分を見つめ直し、最後の大会に向けて一生懸命練習に励んでいます。

最初はペアとしてもチームとしてうまくコミュニケーションを取れず、すれ違ってしまい、意見がぶつかり合ったり喧嘩もしましたが、お互いを認め相手の気持ちを尊重し、分かち合うことで団結力の高いチームになりました。

■中学陸上競技部

中学陸上競技部は、男子二十四名、女子二十三名の計四十七名で活動しております。四月には一年生が十八名入部しました。そのほとんどが陸上競技未経験者ですが、上級生の指導を受け、日々練習に励んでいます。

部長 大川 美咲

練習では、主に長距離と短距離に分かれて、各パート長が中心となりメニューに取り組みようとしております。その際は、個々で別々の練習をするのではなく、部員が一体となって活動するよう心がけております。もちろん、学年や男女の違いにより走る速さは変わりますが、距離やペースを調整するなどの工夫をして、励まし合いながら練習できる環境を整えるようにしております。

また、大会に臨むにあたっては、部員それぞれが具体的な目標を設定するようにしております。自己ペースの更新を目指すのか、参加標準記録の突破を目指すのかなど、大会ごとの位置づけを明確にすることにより、目標達成を意識し、部活動に励

んでおります。

さらに、ルールの遵守や挨拶の徹底などを通し、人間性の育成にも努めております。

今年度は、中学三年生の吉田巨君が1500m、中学二年生の水谷玲仁君が100mで全国大会参加標準記録に迫るタイムをマークしています。二人とも部活と勉強を両立させ、練習にも真摯に取り組む、部の代表的選手です。

連綿と続く中学陸上競技部の伝統を受け継ぎ、精進していく所存でありますので、樹心同窓会会員の皆様のご支援のほど、よろしくお願い致します。

■中学バスケットボール部

「バスケットボールにかける青春」

私達中学バスケットボール部は今年度は男子三十五名(三年生十名、二年生十名、一年生十五名)女子三十一名(三年生八名、二年生九名、一年生十四名)で活動しています。練習は、平日は早朝練習と放課後練習、休日は練習試合や公式戦に出かける等活発的に活動しています。

中体連春季大会では男子はシード校一身上中学校相手に最後まで粘り強く戦いましたがあと一歩のところまで勝利には至りませんでした。女子は一回戦で豊里中学校に見事勝利し、創部数年来の二回戦新出を果たす快挙を上げることが出来、一同喜びに沸きました。

部員達は本当にバスケットボールが大好きです。限られた時間の中で積極的に練習に参加してくれていま

す。それだけでは足りないのか、練習後も自主的に残ってシューティングやプレーの確認等を熱心にする光景も目にします。この一生懸命な姿勢が試合中のプレーにも現れているようで、他校からも褒めの言葉を頂くことがよくあります。

また部活動で培った忍耐力、協調性等を勉強面や生活面にも活かしてくれているようで、部員の中には生徒会役員として活躍している生徒もいます。最近では歴代O・B、O・Gの皆さんも帰省時にわざわざ部活動に参加してくれ、後輩の面倒を見てくれる機会も増えてきており、顧問としても微笑ましく思っています。この家族のような絆を持っているのも中学バスケットボール部の良い伝統だと言えるでしょう。

現在は三年生の最後の夏の大会に向けて部員一丸となって練習に取り組んでいます。三年生には最高のプレーで最高のゲーム展開をし、勝利につなげてほしいと思っています。

■中学バレーボール部

私たちは、三年生九人、二年生五人、そして一年生五人の合計十九名で活動しています。部員は、中学からバレーボールを始めたメンバーばかりで、入部した頃はサーブは入らず、すぐに手が痛くなったりとボールを扱うことができませんでした。しかし今では、点がとれるサーブやスパイクを打ったり、ボールを「操る」ということができるようになってきました。

昨年の七月に今チームが始動し、県大会出場を目標に掲げ練習してき

ました。十二月の県大会予選ではベスト16という枠に一步届かず、目標達成への取り組み方やチームを見直すきっかけとなりました。部員一人一人が「勝つ」ことへの想いを再確認し、練習に励みました。そして迎えた四月の県大会予選では、県大会出場枠であるベスト4には届かなかったもののベスト16入りを果たし、チームが前に進んでいることが結果になりました。

私たちは、部活動以外の学校や家庭での生活をきちんとすることを心掛けています。大きな声で挨拶をする、宿題の提出期限を守るなど、当たり前のことばかりですが、これらを完璧にすることで自分に自信が持て、周りからも応援されるチームになると思います。

七月には私たちの最後の大会があります。時間は限られています。その中で少しでも上達するよう、仲間と高め合いながら励み、悔いの残らない大会にしたいと思っています。最後になりましたが、私たちバレーボール部を支えて下さった皆様、部員一同心から感謝しております。チーム一丸となり、日々精進していきますので、これからもご指導をよろしくお願いします。

バレーボール部主将

■中学サッカー部

「高田中学サッカー部で学んだこと、得たこと」

高田中学三年 澤田 康誠

高田中学サッカー部に入部して、

あつという間に二年の月日が流れました。数か月後には引退を迎えます。まず僕がサッカー部に入部して得たものは、かけがえのない仲間ができたことです。日頃の学校生活を一緒に過ごす仲間とは、いざサッカーの試合に挑む時にも、お互いの性格やサッカーの技術、全てを分かり合っているからこそ成功するプレーがあります。

サッカーは一人ではできません。支え合うことで試合になります。仲間とは、暑い日も寒い日も、苦しくて辛い練習や試合を通して、お互いの信頼関係を築いてきました。去年の夏、僕はキャプテンの任命を受けました。未だに僕自身の人としての未熟さに仲間迷惑をかけることもありますが、副キャプテンはじめ仲間から助けられているし、周りの仲間から学ぶことが多々あります。

次にサッカー部で学んだことは、サッカーのプレーと日頃の生活は比例するという事です。サッカーでは、対戦相手とは試合が始まる際には握手をします。プレー中はルールに従い戦います。試合終了時には感謝の意を込めて必ず挨拶をして終わります。

サッカーをする前に日頃の生活を正すこと、すなわち、自ら考えて行動することができないと、オフ・ザ・ピッチでも決していい選手とはいえません。顧問の先生からはサッカー以外の面でも時に厳しく、そして心温かく見守っていただきました。最後に、高田中学サッカー部員として、中学校生活を過ごし、己が

成長していく過程を、仲間、そして北先生をはじめとする顧問の先生方、保護者の方々、僕を支えてくれた全ての人々に感謝したいと思います。夏季中体連では、ベストを尽くせるよう、仲間と共に最高のコンディションで挑みたいのです。

■中学なぎなた部
現在十三名が所属し、高校生と一緒に稽古に励んでいます。一昨年に団体で全国三位を達成し、更に上を目指して挑んだ一年でしたが、本校の留学プログラムと日程が重なったこともあり、シード権のあった全国中学生大会を欠場、東海大会でも試合経験のなさが響き、個人で四位入賞が最高でした。ただ、悔しい思いをした三年生がその後奮起し、今年度の三重インターハイに出場する高等部のメンバーに二名が入ったのは大きな収穫であったと思います。現三年生はインターハイ準備やインターハイ当日に試合日程が重なっている都合上、夏に行われる全国大会に出場できません。貴重な体験の機会を失うことになりませんが、秋の東海大会に向け、インターハイで目に焼き付けたハイレベルの技を我が物にすべく精進していきたいと考えています。

（主な戦績）
・平成二十九年全国少年少女武道錬成大会なぎなた競技（平成二十九年八月日本武道館）
中学三年生試合の部
ベスト8 渥美 麻友

・平成二十九年東海なぎなた選手権大会（平成二十九年十一月大垣市武道館）
中学生女子個人の部
4位 高林 由珠

・第六回恒産杯なぎなた大会（平成三十年五月大阪府松原体育館）
中学女子団体 3位
混成Cチーム（杉森 彩葉）

■中学卓球部
私たちは、三年生男子十人女子十七人、二年生男子十七人女子十三人に加え、今年男子十八人女子十八人の一年生が入部し、男女合わせて九十三人で活動しています。中学卓球部は大人数で楽しく活動しています。ラリーや試合形式での練習を中心として、土曜日などの練習時間が比較的長い日にはトーナメント形式の試合や、男女混合の団体戦をして練習しています。またネットを利用して多球練習やサーブ練習もしています。皆がそれぞれの方法で上達できるように頑張っています。

今年の津卓球選手権大会ではベスト8に入った男子部員がいます。また、練習の成果が出てきたのか、一回戦を突破する部員も増え、初めての大大会で一勝もできなかった人が三回戦を突破するなど、とても成長が見られる部員もいます。

また、大会での応援の仕方が不慣れであることなど改善点もあります。一人ひとり、それぞれの目標に向かつて日々頑張りたいと思います。練習や試合に励んでいますので、よろしく願います。

■高校新体操部
新体操部です。本年度も部員一同、部活と勉強の両立を目指し、日々練習に励んでいます。普段の練習としては、基礎体力作りを中心に基本的な技はもちろん、高度な技への取り組みも行っています。高度な技を練習する際、一番の妨げになるものが恐怖心です。しかし、それを乗り越えていかなければ、試合でいかにミスなく演技をしたとしても、点数が上がりません。選手たちには、その恐怖心に打ち勝つ精神力も同時に磨いてもらうことを目指しています。それを、競技だけでなく、日々の生活にいかしてもらいたいと考えています。

本年度は静岡県で八月に全国高校総体（インターハイ）があります。昨年度は、インターハイ予選で他校の選手に負けたため、長く続いていたインターハイの連続出場が途絶えてしまいました。また、本年度は東海を舞台にインターハイが開催されるため、その出場権を勝ち取るために、頑張っています。個人はもちろんですが、団体にも力を入れていきます。

最後になりますが、新体操部OBの皆様の心暖かな応援ありがとうございました。今後も、各種大会において、審判等をお願いをさせていただいております。また、お時間がありましたら、部活動や大会を見に来ていただきたいと思います。

■高校野球部
現在三年生十三名、二年生十名、

現在三年生十三名、二年生十名、

一年生十六名、マネージャー四名、先生三名を含め計四十六名で活動しています。平日は毎日時間が短いながら効率よく充実した練習をしています。休日は主に練習試合を行っています。昨年は秋、春と目標としていた県大会出場をあと一歩のところまで逃してしまいました。しかし、この悔しさをバネに三年生にとって最後の夏の大会で悔いの残らないプレーをし、ベスト8に残りたいと思っています。そのために、一人一人が怪我や体調管理に気を配り過ごしていくこと、今のチームのモットーである「繋」というプレースタイルを心がけています。そして、自分達の悪いところを自分達で指摘し合うこととお互いを高め合っています。また、ただただ勝つことだけを考えるのではなく、挨拶などの礼儀作法、自分だけではなく周りの人と協力することの大切さなども野球を通して学んでいきたいと考えています。

■高校軟式野球部

軟式野球部は現在、部員数三十九名で活動しています。活気に溢れた良い雰囲気、皆が楽しく切磋琢磨しながら日々練習に取り組んでいます。昨年度、夏の東海大会では、静岡県代表の浜松商業高校に1対0で勝

利し、東海大会ベスト4という結果を収めることができました。新チームになって迎えた秋季大会でも、東海大会へ出場することができました。冬から春にかけては、一人一人が高い意識をもって厳しい練習に耐え抜き、体力・精神力を鍛えました。しかし、そうして迎えた春季大会は、リーグ戦に進んだものの、最終戦で流れをうまくつかむことができず敗れてしまい、東海大会出場を逃すという非常に悔しい結果になってしまいました。

軟式野球部は、創部してからの八年間で、東海大会へ九回出場し、二度の東海大会ベスト4という成績を残してきました。先輩たちが積み上げてきた実績のおかげで、二〇二一年に三重県で開催される国体に向けての強化指定校に選出されるまでに発展しました。

部員一同、悔しい思いを胸に、より一層練習に励み、技術を向上させ、精神力を磨いていきます。数々の強豪高校との練習試合を通して、実力を養い、絆を深め、チーム一丸となつて戦い、守備からリズムをつくり、攻撃に勢いをつけてチャンスものにし、夏季大会では必ず東海大会出場を果たそうと決心しました。

先輩たちの築いてきた伝統を絶やさずつないでいきたいと思えます。今後も軟式野球部への応援をどうぞよろしくお願ひします。

■高校卓球部

平成三十年度三重県高校総体卓球競技兼全国総体兼東海総体三重県予

第68回三重県高等学校 総合体育大会入賞 東海大会・全国大会出場一覧表 平成30年5月25日(金)～5月27日(日)

部名	競技	年組	氏名	成績	東海	全国	
なぎなた部	女子個人	5 a	長田 梨奈	2位	○	○	
		5 c	中尾 桜子	3位	○	○	
		5 d	直田 李穂	5位	○		
	演技	4 a	高林 由珠	7位	○		
		5 d	直田 李穂	4位	○	○	
	団体	III D	5 a	和田 友香			
			5 a	長田 梨奈			
			5 a	垣本 江璃			
			5 c	中尾 桜子	2位	○	○
			5 d	直田 李穂			
4 a			高林 由珠				
4 b			脇田 悦				
陸上競技部	男子400mハードル	6 d	丸山 正靖	優勝	○		
	男子4×400mリレー	6 d	丸山 正靖				
		6 e	松葉 光				
		III 1	中島 稜太	準優勝	○		
		II 3	上尾田 武蔵				
		III 1	浅尾 倫太郎				
	男子400m	II 3	上尾田 武蔵	3位	○		
	男子800m	II D	浅野 太心	5位	○		
	男子八種競技	6 b	那須 柁斗	5位			
	男子八種競技	II F	鳥尾 英紀	6位			
	女子800m	6 e	伊藤 聖良	6位	○		
	男子400m	6 e	松葉 光	7位			
	男子1500m	II D	浅野 太心	7位			
	男子三段跳	III 1	前田 彩斗	8位			
	男子走幅跳	I E	村島 佑樹	8位			
学校対抗	男子トラックの部		5位				
学校対抗	男子総合の部		8位				

部名	競技	年組	氏名	成績	東海	全国
柔道部	男子団体	III 6	堀口 晃大	3位	○	
		III 5	加戸 亜門			
		III 2	伊藤 良真			
		III 5	柴田 周吾			
		III A	川崎 康平			
		II D	渡邊 敦也			
	女子57kg級	III 2	齋藤 南帆	準優勝	○	○
	女子70kg級	I 5	伊勢谷 晏未	準優勝	○	○
	男子60kg級	III 2	伊藤 良真	5位		
	男子73kg級	III 5	柴田 周吾	5位		
	男子90kg級	III 6	堀口 晃大	5位		
	男子100kg超級	III 5	加戸 亜門	5位		
	女子52kg級	I 3	大西 亜虹	3位		
女子57kg級	I 1	平賀 美羽	3位			
新体操部	男子個人総合	6 c	河瀬 貴哉	優勝	○	○
		6 c	西田 空登	3位	○	
		III 4	青木 陽彦	4位	○	
		6 a	福森 敦	5位	○	
		5 e	小林 千隼	6位		
		6 c	河瀬 貴哉	優勝	○	○
	6 c	西田 空登				
	III 4	青木 陽彦				
	6 a	福森 敦				
	男子団体	6 a	小林 千隼			
5 e	小林 千隼					
II 2	堀 陽向					

選が行われました。結果は次の通り。

【中勢地区予選】

四月二十一日 津市久居体育館

男子シングルスはⅢ3堀川優作、Ⅲ3古市一也、Ⅱ5郡司大紀、Ⅱ2井上大介、Ⅱ1駒形和樹、Ⅰ1鈴木波輝、Ⅰ4平尾拓海、ⅠE山本護大の八名。女子シングルスはⅢ5岩間美樹、ⅢA吉川琴音、Ⅲ3加田優真、Ⅱ5村井結衣、Ⅱ5高北彩、Ⅰ5濱林千尋、Ⅰ2岩本怜奈、Ⅰ5後藤夏希、Ⅰ1藤倉麗菜の九名が予選を通過しました。

なお三重県ランキング上位により、

男子シングルスはⅢ1石城蓮、Ⅲ1土肥慶祐、Ⅱ3溝田雅斗、Ⅱ4薄井陸帆、女子シングルスはⅢ4前田絢香、Ⅲ2長江日南、Ⅲ3松元優里香、男子ダブルスのⅢ1石城蓮Ⅱ3溝田雅斗ペア、女子ダブルスのⅢ4前田絢香Ⅲ2長江日南ペアが、予選免除での県大会出場となりました。

【シングルの部 三重県予選】

五月三日・五月四日 津市体育館

男子シングルスは、Ⅲ1石城蓮が優勝、Ⅱ3溝田雅斗が三位、ⅠE山本護大が五位、Ⅰ1鈴木波輝が六位、Ⅲ1土肥慶祐が十位、Ⅱ4薄井陸帆が十一位、女子シングルスは、Ⅲ2長江日南が三位、Ⅲ4前田絢香が六位、Ⅲ3松元優里香が九位でした。一位から四位は全国総体、一位から八位は東海総体の出場権を獲得しました。

【ダブルスの部 三重県予選】

五月六日 津市体育館

男子ダブルスは、Ⅲ1石城蓮Ⅱ3溝田雅斗ペアが優勝、Ⅱ4薄井陸帆Ⅱ5郡司大紀ペアが三位、Ⅲ1土肥慶祐ⅠE山本護大ペアが四位、女子ダブルスはⅢ4前田絢香Ⅲ2長江日南が三位でした。一位から二位が全国総体、一位から四位が東海総体の出場権を獲得しました。

【団体の部 三重県予選】

五月二十六日・二十七日

三重交通Gスポーツの杜伊勢

男子団体は四年連続十二回目の優勝で全国総体・東海総体、女子団体は第二位で東海総体の出場権を獲得しました。

東海総体は六月十六日・十七日にスカイホール豊田で、全国総体は八月三日から八月八日まで同じくスカイホール豊田で開催されます。

■高校硬式テニス部(男女)

執筆者：教諭 安孫子 玄

硬式テニス部は、県大会において上位を目指し日々練習に励んでいます。部員数は今年度は六十名を超え、使用できるコート数が少ない環境でも、練習内容を工夫しながら取り組んでいます。部員の大半は硬式テニスの未経験者ですが、先輩部員に学んだり、ある部員は個別にテニススクールに通ったりしてスキルアップに努めています。

部員同士の仲が良く、その良好な

部名	競技	年組	氏名	成績	東海	全国
卓球部	男子団体	Ⅲ1	石城蓮	優勝	○	○
		Ⅲ1	土肥慶祐			
	男子団体	Ⅲ3	堀川優作	優勝	○	○
		Ⅲ3	古市一也			
		Ⅱ3	溝田雅斗			
		Ⅱ4	薄井陸帆			
		Ⅱ5	郡司大紀			
		Ⅱ2	井上大介			
		Ⅰ1	鈴木波輝			
		ⅠE	山本護大			
	女子団体	Ⅲ4	前田絢香	2位	○	
		Ⅲ2	長江日南			
		Ⅲ5	岩間美樹			
		ⅢA	吉川琴音			
		Ⅱ5	村井結衣			
		Ⅱ5	高北彩			
Ⅰ5		濱林千尋				
Ⅰ2		岩本怜奈				
卓球部	男子シングルス	Ⅲ1	石城蓮	優勝	○	○
		Ⅱ3	溝田雅斗	3位	○	○
		ⅠE	山本護大	5位	○	
卓球部	女子シングルス	Ⅰ1	鈴木波輝	6位	○	
		Ⅲ2	長江日南	3位	○	○
		Ⅲ4	前田絢香	6位	○	
卓球部	男子ダブルス	Ⅲ1	石城蓮	優勝	○	○
		Ⅱ3	溝田雅斗			
		Ⅱ4	薄井陸帆			
		Ⅱ5	郡司大紀			
		Ⅲ1	土肥慶祐			
	女子ダブルス	Ⅲ2	長江日南	3位	○	
		Ⅲ4	前田絢香			
		Ⅲ1	石城蓮			
		Ⅱ3	溝田雅斗			
		Ⅱ4	薄井陸帆			
卓球部	男子シングルス	Ⅲ1	石城蓮	優勝	○	○
		Ⅱ3	溝田雅斗	3位	○	○
卓球部	女子シングルス	ⅠE	山本護大	5位	○	
		Ⅰ1	鈴木波輝	6位	○	
卓球部	男子ダブルス	Ⅲ1	石城蓮	優勝	○	○
		Ⅱ3	溝田雅斗	3位	○	
卓球部	女子ダブルス	Ⅲ2	長江日南	3位	○	
		Ⅲ4	前田絢香			
卓球部	男子シングルス	Ⅲ1	石城蓮	優勝	○	○
		Ⅱ3	溝田雅斗	3位	○	○
卓球部	女子シングルス	ⅠE	山本護大	5位	○	
		Ⅰ1	鈴木波輝	6位	○	
卓球部	男子ダブルス	Ⅲ1	石城蓮	優勝	○	○
		Ⅱ3	溝田雅斗	3位	○	
卓球部	女子ダブルス	Ⅲ2	長江日南	3位	○	
		Ⅲ4	前田絢香			
卓球部	男子シングルス	Ⅲ1	石城蓮	優勝	○	○
		Ⅱ3	溝田雅斗	3位	○	○
卓球部	女子シングルス	ⅠE	山本護大	5位	○	
		Ⅰ1	鈴木波輝	6位	○	
卓球部	男子ダブルス	Ⅲ1	石城蓮	優勝	○	○
		Ⅱ3	溝田雅斗	3位	○	
卓球部	女子ダブルス	Ⅲ2	長江日南	3位	○	
		Ⅲ4	前田絢香			
卓球部	男子シングルス	Ⅲ1	石城蓮	優勝	○	○
		Ⅱ3	溝田雅斗	3位	○	○
卓球部	女子シングルス	ⅠE	山本護大	5位	○	
		Ⅰ1	鈴木波輝	6位	○	
卓球部	男子ダブルス	Ⅲ1	石城蓮	優勝	○	○
		Ⅱ3	溝田雅斗	3位	○	
卓球部	女子ダブルス	Ⅲ2	長江日南	3位	○	
		Ⅲ4	前田絢香			
卓球部	男子シングルス	Ⅲ1	石城蓮	優勝	○	○
		Ⅱ3	溝田雅斗	3位	○	○
卓球部	女子シングルス	ⅠE	山本護大	5位	○	
		Ⅰ1	鈴木波輝	6位	○	
卓球部	男子ダブルス	Ⅲ1	石城蓮	優勝	○	○
		Ⅱ3	溝田雅斗	3位	○	
卓球部	女子ダブルス	Ⅲ2	長江日南	3位	○	
		Ⅲ4	前田絢香			
卓球部	男子シングルス	Ⅲ1	石城蓮	優勝	○	○
		Ⅱ3	溝田雅斗	3位	○	○
卓球部	女子シングルス	ⅠE	山本護大	5位	○	
		Ⅰ1	鈴木波輝	6位	○	
卓球部	男子ダブルス	Ⅲ1	石城蓮	優勝	○	○
		Ⅱ3	溝田雅斗	3位	○	
卓球部	女子ダブルス	Ⅲ2	長江日南	3位	○	
		Ⅲ4	前田絢香			

※高体連主催の全国大会はありません。高馬連主催の全国大会に個人・団体とも出場します。

関係を築けていることは硬式テニス部の魅力です。また、部員数が非常に多いため団体戦のメンバーに選ばれることは容易ではありませんが、それでも部員同士で切磋琢磨し合い、練習に励んでいます。そのような環境と日々の努力が、お互いに厳しくも鼓舞し合える関係にも繋がっていると考えています。

最近の大会結果に関して、男子については三月に行われた選手権大会において、男子シングルとダブルスにおいて三年生の選手が三位入賞を果たしました。また、三年生最後の大会となった高校総合体育大会・団体戦で初戦を突破したものの、二回戦で全国優勝を果たした四日市工業高校と対戦し敗退しました。結果は非常に悔しいものでしたが、全国トップのチームと対戦し、善戦できたことは部員全員の大きな自信に繋がりました。女子に関しては、入賞を果たしてはいませんが、シングルスやダブルスにおいて好成績を残しており、毎回の大会で上位入賞を狙い取り組んでおります。また、毎年恒例となっている津市の車いすテニス大会への参加は、今年で六年目になります。車いすの方々とテニスを通じて交流を深めていることは、部員たちにとって様々なことを複眼的に学ぶ良い機会となっています。

多くの部員が入部し、全体のレベルも年々向上しているように感じます。しかし、大会結果を振り返ると、あともう少しのところで勝利を逃してしまつた試合も多くあります。今後は試合の反省を活かし、より上位入賞を目指して活動して参りたいと思つています。今後ともご指導ご鞭撻とともに、応援を宜しくお願ひ致します。

いとと思つています。今後ともご指導ご鞭撻とともに、応援を宜しくお願ひ致します。

■高校ソフトテニス部

私達ソフトテニス部は、技術の向上を目標にするだけでなく、人間的に成長することを大切にして日々練習をしています。辛い時にも皆で声をかけ合い、助け合いながら乗り越えています。また、学年関係なく沢山コミュニケーションがとれて、とても仲の良いチームです。

そんな私達にとつて団体戦は、特別な試合です。団体メンバーの選考では、先輩は絶対に後輩に負けない、後輩は絶対に先輩を抜かすと、お互いに良い刺激を与え合いました。試合になると、男女が一緒に声を出して応援し、チームで戦つて勝利することを大切にしています。

現在私達は東グラウンドの東側にある二面のオムニコートと一面のクレーコート使つて練習しています。それ以外に、JR 一身田駅の近くの二面のオムニコートを他の部活と交代で使用しています。施設にも恵まれ雨天でも練習ができるありがたい環境です。先輩方も、本校にお越しの際は私達の練習を見に来て下さい。

男子主将…川邊旅人
女子主将…嶋野楓花

■高校陸上競技部

皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。私たち陸上競技部員は五十五名(男子四十名、女子十五名)で活動しています。六年制と三年制の生徒が同じ活動をするこ

とで、互いに刺激し合いながら文武両道のもと充実した学校生活を過ごしています。また、陸上競技部の試合で掲げる横断幕を今年度新しく卒業生から寄贈して頂きました。そこには「全力勝負 高田高校陸上競技部」の文字があり、選手達はその思いを背負い競技しています。今シーズンは男子では400mを中心とする短距離メンバーと男女中長距離に力のある選手がおり東海・全国大会での活躍を目指しています。また、高校から陸上競技を始めた選手も多く、一年後、二年後を見据えて目標をもつてトレーニングに励んでいます。東海総体までの結果は以下のとおりですが、また今シーズンは始まつたばかりで、力のある新入生も入部してくれたので、ここからさらにジャンプアップしていきたいです。また、秋の高校駅伝においても三位入賞を目指し東海大会でチーム記録の更新も目指して行きたいです。今年度もご支援、ご声援の程よろしくお願ひ申し上げます。

- 400m 第5位 6年e組 松葉 光
- 女子 800m 第5位 6年e組 伊藤 聖良

総合体育大会陸上競技の部

- 男子総合の部 第8位
- 男子トラックの部 第5位
- 男子400mハードル
- 優勝 6年d組 丸山 正靖
- 4×400mリレー
- 準優勝 6年d組 丸山 正靖
- 6年e組 松葉 光
- Ⅲ年1組 中島 綾太
- Ⅱ年3組 上尾田武蔵
- 400m 第3位 Ⅱ年3組 上尾田武蔵
- 第7位 6年e組 松葉 光
- 800m 第5位 Ⅱ年D組 浅野 太心
- 1500m 第7位 Ⅱ年D組 浅野 太心
- 8種競技 第5位 6年b組 那須 柁斗
- 第6位 Ⅱ年F組 鳥尾 英紀

- 三段跳
- 第8位 Ⅲ年1組 前田 彩斗
- 走幅跳
- 第8位 Ⅰ年E組 村島 佑樹
- 女子800m 第6位 6年e組 伊藤 聖良

- 平成三十年度国体第一次選考競技会
- 少年男子400mハードル
- 第4位 6年d組 丸山 正靖
- 少年男子B走幅跳
- 第3位 Ⅰ年E組 村島 佑樹

第四十八回三重県高等学校陸上競技春季大会

- 男子 4×400mリレー
- 第4位 6年b組 那須 柁斗
- 6年e組 松葉 光
- Ⅲ年1組 中島 綾太
- Ⅱ年3組 上尾田 武蔵

第六十五回東海高等学校

- 男子400mハードル
- 第7位 6年d組 丸山 正靖

校総体に出場

■高校水泳部

こんにちは、高校水泳部です。長きにわたり、利用させてもらつてきた本校のプールが取り壊されることとなりました。今年度からは、学校で練習ができないため、一般の部員は募集せず、スイミングスクールに通っている生徒のみの募集となりました。今年度は、Ⅰ年生男子二名が入部し、男子二名、女子六名の計八名でスタートしました。活動形態としては、スイミングスクールに所属していない上級生は毎日外部プールを利用して練習、スイミング生は各スイミングスクールでの練習となっています。普段は一緒に活動することがほとんどありませんが、高体連主催の試合のみ同じ高田高校チームで参加します。今年度は、五月に浜名湾高校生選手権、六月上旬に三重県高等学校対抗水泳競技大会に参加しました。高校対抗では、Ⅰ年生の橋本翔波君が100m・200m平泳ぎで第二位という好成績を収めました。国民体育大会の標準記録を突破することを目標に日々練習に励んでいます。女子は団体成績が七位で惜しくも入賞ならずでしたが、六位入賞校との点数は僅差まで詰めることができました。六月下旬に行われる県総体では、一人でも一種目でも多く東海総体の出場権を獲得すること、女子総合六位入賞を目指して部員一丸となって精進していきますのでご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひいたします。

多く東海総体の出場権を獲得すること、女子総合六位入賞を目指して部員一丸となって精進していきますのでご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひいたします。

■高校バスケットボール部

私達バスケットボール部は、高校

私達バスケットボール部は、高校

私達バスケットボール部は、高校

私達バスケットボール部は、高校

私達バスケットボール部は、高校

二年生の男子十人・女子六人、高校一年生の男子十三人・女子十人の計三十九人で毎日練習に励んでいます。私達の目標は、一つ一つの試合で最後まで全力でやりきり、一つでも多く勝てるようにすることです。そのため私達は先生の指導のもとで、毎日全力で練習に取り組んでいます。先輩達から教わった技術や練習への姿勢などを意識しながら練習をして、少しでも私達の目標に近づけるように、これからは頑張っていきたいと思います。

■高校バレーボール部

高田高校女子バレーボール部では、「春高出場」を目指して、日々練習に励んでいます。「春高出場」という大きな目標に向けて、私達は毎日、常に「試合中だったら」と試合の状況を思い浮かべながら練習をしています。それは、試合に出るレギュラーの人だけでなく、それ以外のメンバーも「試合中だったら、このボールが最後の一点だったら」と思うことで全員で練習から雰囲気を作る事ができます。

私達は練習の中でも「競争」を意識しています。試合に出られるのはリベコを含めても七人しか出ることできません。そのため、チーム内でも「競争」という状況が生まれてきます。レギュラーになるために競争をすることによって、チーム内で切磋琢磨し合えることができます。しかし、チームとして戦う時は、チーム一丸となつて、全員バレーで試合に挑みます。自分が苦しく、めげそうになった時に仲間が支えとなり乗り越えることが出来ます。だから、良いライバルでありつつも良き仲間としてとても強い絆が深まります。

り越えることが出来ます。だから、良いライバルでありつつも良き仲間としてとても強い絆が深まります。

そして、私達は「春高出場」という目標を達成するために、毎日「全力で、どんな時でも諦めない」という気持ちを持って練習しています。練習の中で、全員が「どんなボールでも諦めずにレシーブをしに行く。スパイクを打ちに行く。」という気持ちでやっています。そうすることで、試合で負けそうになったり、点差が開いている時でも、全員が「諦めずに頑張ろう」という気持ちになります。諦めずに戦い続けて試合に勝った時の喜びはとても大きなものです。だから、日々諦めない気持ちを持って練習しています。

ライバルでありながらも練習の中で指摘し合ったり、アドバイスをしたり、褒め合ったりすることで自分達で雰囲気を作っています。私達は、チームとして「春高出場」を目指し、一人ひとりが諦めずに全員バレーで頑張っていきたいと思います。

■高校ハンドボール部

現在ハンドボール部は、三年生が引退し、男子十五名、女子十二名で活動しています。

昨年十一月に行われた新人大会では、男子は、予選リーグで亀山高校に勝ちましたが、川越高校、鈴鹿高校に敗れ、決勝トーナメントに進出することができませんでした。女子は、予選リーグで伊賀白鳳高校に勝ちましたが、津西高校と桑名・名張・鈴鹿高専の合同チームに敗れ、決勝

トーナメントに進出することができませんでした。昨年十二月に行われた選抜大会では、男子は、予選トーナメントで桑名工業に敗れました。女子は、予選トーナメントでいなべ総合学園に敗れました。

先日行われた県総体では、男子は、鈴鹿高専に、一点差で惜敗しました。女子は、四日市南高校に敗れました。試合に敗れはしましたが、男女とも健闘し、日頃の成果を十分に発揮することができました。

卒業生の皆様、もし時間を作っていたことができたら、是非、高田高校グラウンドまで足を運んでいただきたいと思えます。

■高校サッカー部

高田高校男子サッカー部は、今年度で創部二十五周年を迎えることになりました。先日の県総体予選にて海星高校に敗戦し、三年生十二名が引退しました。現在、二年生十四名、一年生二十七名の計四十一名で活動しています。昨年度から女子サッカー部も活動し始めており、高校一年生から三年生までの計十五名が集まり、一月に行われた新人大会では初戦を突破し、五位に入賞しました。この五月の県総体予選にも参加し、三位決定戦で四日市南高校に敗れたものの、第四位という結果になり、よりいっそう選手たちは活気に溢れてきました。部員達男女共に恵まれた環境の中で、日々一生懸命ボールを追いかけて、汗をかき、充実した学校生活を送ることができています。

昨年度、男子サッカー部は三重県サッカーリーグ三部リーグにて結果を残すことができず、部員達もまずは「二部リーグ昇格」を目標にしています。現部員達は先輩たちの残してくれた伝統を大切に受け継ぎながら、新たな記録を築き上げるため、チーム一丸となり、練習に励んでいます。今後、男女共に好成績を残していけるよう指導に励んでいきたいと感じています。

本学サッカー部は、誰からも応援されるチームになるため、チームの一員として何事も全力で勝ちにいく闘う姿勢、他者を思いやり感謝する気持ち、そして生涯サッカーを愛し続ける気持ちを大切にしながら、「全員サッカー」を発揮できるチーム作りを目指しています。高田高校の一員としての誇りを持ち、いっそうの努力を忘れず、部員指導者共々日々精進していきますので、今後ともご支援ご協力よろしくお願ひします。

■高校なぎなた部

昨年度は三年ぶりにインターハイ団体の部で五位に入賞する事ができ、本年八月に開催される三重インターハイに向けてはすみをつけることができました。また、今年是一年生九名をむかえ、女子十四名というこの最近では最も多い人数となりました。他のクラブに比べると少数ですが、全国優勝に向けて活発に活動しています。GWに行われた恒難杯では連覇を目指しましたが、選抜大会優勝校の大阪清教学園高校に惜しくも本数差負け。インターハイで地元優勝を！という思いが前哨戦でも強

く出過ぎ、プレッシャーにつながったようです。先日行われた県総体では、個人・演技団体の部でインターハイ出場枠を確保しましたが、予想外の苦戦と、勝利を宿命づけられたもののつらさを存分に味わっています。ただ、ここをこえてこそその栄光だと思いたるので、チーム一丸となつてさらに上のレベルを目指していきたいと思えます。東海総体には団体、個人女子四名、演技一組が出場しますが、まずは全国制覇への足がかりとして、昨年優勝の東海学園や大垣商業高校といった強敵を撃破して総合優勝旗を奪還し、インターハイでは更に大きい優勝旗を掲げたいと思えます。インターハイでは多くの卒業生に協賛及び役員ボランティアでお世話になります。その御礼の意味でも「高田高校全国制覇」を成し遂げるべく、残り少ない日々ですが、最善の努力をしまいいります。

(主な戦績)

- ・平成二十九年東海高等学校総合体育大会 (平成二十九年六月津市 久居体育館)
 - 団体部 3位
 - 女子個人の部 3位
 - ・平成二十九年全国高等学校総合体育大会 (平成二十九年八月仙台 市宮城野体育館)
 - 団体の部 5位
- 佐脇 千尋・吉田のぞみ
安井 理緒・高林 陽菜
長田 梨奈・直田 李穂
中尾 桜子

・平成二十九年国民体育大会なぎなた競技

三重県代表選手 長田 梨奈
平成二十九年国民高等学校選抜なぎなた大会 (平成三十年三月伊丹市スポーツセンター)

女子個人の部出場

吉田のぞみ・安井 理緒
第六回恒難杯なぎなた大会 (平成三十年五月大阪府松原体育館)

高校団体の部 3位

脇田 悦・長田 梨奈
中尾 桜子・直田 李穂
和田 友香

・平成三十年度三重県高等学校総合体育大会 (平成三十年五月高田高校)

女子個人の部

2位 長田 梨奈
3位 中尾 桜子
4位 脇田 悦

直田 李穂・長田 梨奈 組
団体の部 2位

和田 友香・直田 李穂
長田 梨奈・中尾 桜子
垣本 江璃・脇田 悦
小林 由珠

以上、全国高等学校総合体育大会・東海高等学校総合体育大会出場。他二名 (直田李穂・小林由珠) も東海総体個人の部出場。

■高校バトントン部

私達バトントン部は、三年生二十四人、二年生十人、一年生二十人計五十四人で活動しています。毎週月曜日から金曜日の放課後に、体育館一階ピロティーで練習しています。

学校内の活動では、体育祭でバ

レードを踊ったり、文化祭では演技発表をしています。演技発表では、

みんながアイデアを出し合わなければ良い演技にはならず、完成するまでにとっても時間がかかります。しかし、声援の中で踊り終えた後の達成感はずごく思い出に残っています。

学校外では、秋に行われる団体の大会に出場しています。そして冬には個人の大会に出場しています。さまざまな大会で金賞が取れるように、みんなで教え合いながら練習していきます。今年はずっと前の人より前の大会よりも難しい演技に挑戦しているので、できないことも多く、とても苦労しています。しっかり練習して笑顔で自信のある演技ができるようにがんばります。

すべての活動を通して、今までは先輩の主導の下、出された指示によつて行動していましたが、自分達が一番上の立場に立った時、先輩のごさを改めて感じました。なのでこの部活では、誰よりも周りを見て行動することや、指示や説明をする時にわかりやすく伝えるなどの今までのできなかったことを身につけることができそうです。バトントンの技術だけでなく、日常生活において必要なことも学んでいける部活にすることが大切なので、後輩にもしっかりと指導していきたいです。

私達三年生は、七月の野球応援で引退です。五十四人全員で振りを揃え、試合を少しでも盛り上げられるようにし、たくさんさんの勝利へ導けるようにがんばります。引退まであと少し悔いの残らないように活動したいです。

Ⅲ年B組 堀山 未羽

■高校応援団

応援団2018

「新入生の健闘を祈って、フレ、フレ、高田。フレ、フレ、高田、フレ、フレ、高田!」

今年度の新入生対象クラブ紹介の一場面です。四人の団員が初めて新入生の前でエールを送るパフォーマンスを披露しました。数年前に一名から始まった応援団も少しずつ形を整えてきています。昨年度は初めての団員としての卒業生も送り出しました。今年度も一名の新入団員を獲得しました。

活動は、まだまだ夏の甲子園を目指す野球部の応援と限定されていますが、精一杯のパフォーマンスを目指したいと思っています。今後とも応援団への応援をよろしくお願いします。

今後とも応援団への応援をよろしくお願いします。

■高校放送部

放送部は、平成二十九年度第六十四回NHK杯全国高校放送コンテスト三重県大会ラジオドキュメント部門で「MKP (私のふるさと)」が最優秀賞、テレビドキュメント部門で「LGBT (いま私にできること)」が優秀賞を受賞、創作テレビドラマ部門で「それでも僕は、逃げられない」、研究発表部門で「良い声は努力によつて作れるのか」が奨励賞を受賞しました。また、アナウンス部門で五年生の宇野夏未さんが最優秀賞、二年生の江崎夢さんと四年生の河合麻衣さんがともに優秀賞を受賞、朗読部門で三年生の西村侑紀さんが奨励賞を受賞しました。そし

て、第六十四回NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会へ出場し、ラジオドキュメント部門で準決勝に進出し、入選(第五位)を受賞しました。さらに、第三十七回近畿高等学校総合文化祭大阪大会のアナウンス小部門に出場しました。このように、昨年度も例年に引き続き、県大会や全国大会で多くの成果を上げることができました。これも、取材や撮影に協力していただいた方々のおかげです。今後はさらに技術を磨き、練習・研究を重ね、来年こそは決勝のNHKホールの舞台へ進みたいと思います。

平成二十九年度は、中学校放送同好会が発足し、中学生も含めて、部員数は三十五名となり、大変にぎやかになりました。番組取材で岡山大学病院や英国大使館への出張や、三重テレビのワクドキ出演、ZTVへのニュース映像の提供、一身田寺内町でのイベントや「みえレインボーフェスタ2017」のボランティアスタッフを努めるなど、校外での活動も例年よりも活発に行なわれました。部員それぞれが、表現力の向上や伝えることや話すこと、コミュニケーション能力や企画力の向上を目指して楽しく活動しています。樹心同窓会をはじめ、すべてのお世話になった方々への感謝の気持ちをお忘れず、この良き伝統を受け継いで、さらに発展させていく努力を続けていきます。

平成二十九年度は、中学校放送同好会が発足し、中学生も含めて、部員数は三十五名となり、大変にぎやかになりました。番組取材で岡山大学病院や英国大使館への出張や、三重テレビのワクドキ出演、ZTVへのニュース映像の提供、一身田寺内町でのイベントや「みえレインボーフェスタ2017」のボランティアスタッフを努めるなど、校外での活動も例年よりも活発に行なわれました。部員それぞれが、表現力の向上や伝えることや話すこと、コミュニケーション能力や企画力の向上を目指して楽しく活動しています。樹心同窓会をはじめ、すべてのお世話になった方々への感謝の気持ちをお忘れず、この良き伝統を受け継いで、さらに発展させていく努力を続けていきます。

部員それぞれが、表現力の向上や伝えることや話すこと、コミュニケーション能力や企画力の向上を目指して楽しく活動しています。樹心同窓会をはじめ、すべてのお世話になった方々への感謝の気持ちをお忘れず、この良き伝統を受け継いで、さらに発展させていく努力を続けていきます。

部員それぞれが、表現力の向上や伝えることや話すこと、コミュニケーション能力や企画力の向上を目指して楽しく活動しています。樹心同窓会をはじめ、すべてのお世話になった方々への感謝の気持ちをお忘れず、この良き伝統を受け継いで、さらに発展させていく努力を続けていきます。

部員それぞれが、表現力の向上や伝えることや話すこと、コミュニケーション能力や企画力の向上を目指して楽しく活動しています。樹心同窓会をはじめ、すべてのお世話になった方々への感謝の気持ちをお忘れず、この良き伝統を受け継いで、さらに発展させていく努力を続けていきます。

部員それぞれが、表現力の向上や伝えることや話すこと、コミュニケーション能力や企画力の向上を目指して楽しく活動しています。樹心同窓会をはじめ、すべてのお世話になった方々への感謝の気持ちをお忘れず、この良き伝統を受け継いで、さらに発展させていく努力を続けていきます。

部員それぞれが、表現力の向上や伝えることや話すこと、コミュニケーション能力や企画力の向上を目指して楽しく活動しています。樹心同窓会をはじめ、すべてのお世話になった方々への感謝の気持ちをお忘れず、この良き伝統を受け継いで、さらに発展させていく努力を続けていきます。

部員それぞれが、表現力の向上や伝えることや話すこと、コミュニケーション能力や企画力の向上を目指して楽しく活動しています。樹心同窓会をはじめ、すべてのお世話になった方々への感謝の気持ちをお忘れず、この良き伝統を受け継いで、さらに発展させていく努力を続けていきます。

部員それぞれが、表現力の向上や伝えることや話すこと、コミュニケーション能力や企画力の向上を目指して楽しく活動しています。樹心同窓会をはじめ、すべてのお世話になった方々への感謝の気持ちをお忘れず、この良き伝統を受け継いで、さらに発展させていく努力を続けていきます。

昨年度は、夏に行われた地区大会で優秀賞を受賞し、県大会に進出。県大会で優秀賞、三重県教育委員会賞をいただき、大阪府池田市で行われた近畿高等学校総合文化祭に出場することができました。また、愛知県で行われた中部日本高等学校演劇大会や、三重県総合文化センターで行われるお芝居なども、積極的に観劇に行きました。

それ以外にも、五月のアトリエ公演 (新入部員をまじえた公演)、九月の文化祭公演、十月の新人公演などの公演を企画し、三月末に行われた春大会では金賞を受賞しました。こちらもみなさまのお力添えがあつたことと存じます。この場を借りて御礼申し上げます。(例年行っていた冬公演は、講堂改修工事のため、行うことができませんでした。また本年度から、実施したいと考えています。)

部活動をとりまく環境もずいぶん変化しました。「勉強が第一」という文言が都合よく使われ、部活動がある意味で割を食っています。しかし演劇は他者とコミュニケーションをとらないと成立しません。自分の、集団のスケジュール管理も要求されます。そういう意味では、これからこの教育は演劇が担っていると言っても過言ではなく、演劇部も、そういう時代を生きる生徒たちの助けになればなあ、なんて思っています。

現在は、七月二十七日(金)二十九日(日)に行われる、夏の地区大会に向けて、稽古を続けています。八月九日(木)十日(金)は県大会です。夏は演劇のシーズンです。地区大会は津市白山総合文化セン

部員それぞれが、表現力の向上や伝えることや話すこと、コミュニケーション能力や企画力の向上を目指して楽しく活動しています。樹心同窓会をはじめ、すべてのお世話になった方々への感謝の気持ちをお忘れず、この良き伝統を受け継いで、さらに発展させていく努力を続けていきます。

ター しらさぎホール、県大会は三重県総合文化センター 中ホールで行われます。是非部員たちの熱い姿を観に、劇場に足を運んで頂けるとありがたいです。

■高校家庭部

家庭部は、三年生十九名・二年生十九名・一年生二十五名の計六十三名で活動しています。

昨年度も例年どおり、春からシフォンケーキとパウンドケーキを練習しました。私の班では、アップルシナモン味のシフォンケーキを作りました。リングの水分が多く、生地の下へ沈まないよう、何度も改良しました。

夏の学校見学会では、中学生や保護者の方々に試食していただきました。

たくさんの練習と改良の結果、秋の文化祭では朝から長蛇の列が出来たくさんの生徒のみなさんと先生方に食べていただきました。シフォンケーキ、パウンドケーキの他にも、抹茶フラペチーノやキムチサンドを調理し、多くの「美味い」という声をいただきました、とても嬉しかったです。

十一月の寺内町祭りでは、地域の方々に食べてもらえる機会となり、喜んでいただけたか、とても不安でしたが、毎年課題となっている。スーヴも好評で、例年よりも早く完売させていただきました。

現在、三年生は引退に向け、お菓子作りの研究と先生方へ感謝をこめてランチプレートを練習しています。楽しく料理を作る事が終わりではなく、周りの人に食べてもらうこと

で、会話が生まれ、人との距離が縮まるということを私は二年半の部活動で気づかせてもらいました。はじめは不安でいっぱいだった部長という仕事も、副部长をはじめ部員みんなが、積極的に協力してくれて、感謝の気持ちでいっぱいです。

部長 久野 佳穂

■高校仏青インターアクト部

III年A組 33席 松永 渉

私たち仏青インターアクト部は、III年・六年十三人、II年・五年十四人、I年・四年二十七人で楽しく活動しています。

活動内容は、校内の仏教行事の準備、高田本山専修寺や一身田寺内町の諸行事のお手伝い、災害などの支援募金、青少年赤十字連盟での活動障がい者支援、老人ホームの慰問と清掃、津市教育委員会主催歴史まるごと体験塾のお手伝い、高田中学校の生徒たちの比叡山林間学校のお手伝い、インターアクト活動などや町内の清掃美化活動、学校内やJR一身田駅での花の植え替えなどを行っています。

今年の一歩の大きな行事は、八月四日(土)五日(日)に高田高校で行われる津北ロータリークラブの皆さんと高田高校仏青インターアクト部が主催する「インターアクト年次大会」です。約半年前から、部員全体でどうすれば充実した二日間になるか、自分たちのアトラクションの時間では何をするのかを考え、準備し、顧問の先生方をはじめ、たくさんの先生方や一身田寺内町ほつ

とガイド会の方々の協力をいただき、順調に準備が進んでおります。今までの一番の難所は、二十分間の高田高校のアトラクションの時間で本校や一身田寺内町や高田本山専修寺を紹介することでした。そしてパワーポイントを使って高田高校、一身田寺内町、高田本山専修寺をわかりやすく紹介することにしました。学校の図書館やホームページなどを使い、どのようにしたら他校の生徒の皆さんにもわかってもらえるかを考えるのが大変でしたが、私たちの満足がいく形に仕上がったのではないかと思います。

今年はたくさんのI年・四年生が入部してくれたので、インターアクトの活動だけにとどまらず、青少年赤十字の活動も積極的に取り組んでいきたいと思っています。

■高校漫画アニメ部

漫画アニメ部は第二十六回全国高等学校漫画選手権大会(まんが甲子園)予選において、全国三〇七校が参加した中、見事上位三十校に選ばれ、念願であった八月に高知県で行われる本選に出場することができました。残念ながら本選では、第一次審査を通過出来ずに決勝に残ることはできませんでしたが、部員達は全国のアニメ部の生徒や顧問の先生と交流し、大変刺激を受けたようです。

本年度も多くの新入部員を迎え、まんが甲子園本選出場をめざし部員一同頑張っています。今後とも応援をお願いいたします。

国際交流委員会

第二十四回

オーストラリア交換留学

若林 広繁

三月十六日から三月三十日までの十五日間、二十四回目となるオーストラリア交換留学プログラムに本校教員四名と生徒三十三名が参加しました。藤山先生と細川先生は生徒十四名とセントモニカ校、楠井先生とポール先生は生徒十九名とパレード校での研修となりました。

十六日早朝になぎさまちを出発し、セントレア空港からシンガポールのチャンギ空港へ乗り換えて、十七日の朝にメルボルンに到着しました。メルボルン空港には両校の先生方にお出迎えをさせていただきました。空港から両校へはバスで移動をしました。各校でホストファミリーとの対面後、教員もそれぞれホストの先生と休日をお過ごししました。私は一昨年このプログラムに参加させていただきました、非常に貴重な文化交流をさせていただきました。

今回のプログラム内容は、セントモニカ校、パレード校は共通してサーフィン実習やヒールズサンクチュアリー、ソプリンヒルでの金の精錬実演見学等、お馴染みの研修に生徒達も有意義な研修となりました。パレード校の初日には、まず入校式を行いました。大勢の生徒たちの前でスピーチを行った本校代表生徒は、緊張しながらも堂々と英語での挨拶にオーストラリアの先生方も感激されました。入校式後、本校生徒たちはパレード校の生徒たちにグ

ループ別で校内案内をしていただき、時よりオーストラリア生徒が日本語で校内を案内し、交流は仲良く行われました。その後は、美術の授業でマグカップを作成するなど、現地の学校の授業を楽しみました。午後はパレード校の日本語授業に参加し、本校生徒たちも英語を用いて、日本文化を説明しました。セントモニカ校でも初日には入校式が行われました。生徒代表の英語によるスピーチをはじめ、モーニングティーによる生徒達も交えたウェルカムパーティーが行われ、九月にホームステイで交流した生徒同士も多く参加してもらっていたこともあり、非常に和やかで楽しく過ごすことができました。

サーフィン実習では両校参加した生徒全員が約一時間のサーフィン実習にチャレンジし、全員が初めての波乗りにも成功しました。人生初のサーフィンに挑戦した生徒達も多く、オーストラリアの自然の中で、マリンスポーツを楽しみました。

また、パレード校はシテイランブルというメルボルン市内での班別研修を行いました。メルボルン市内の町をグループごとに散策し、初めて見る光景に生徒達も興奮していたようです。また、セントモニカ校ではダンス実習にオーストラリア生とともに参加し、身体を動かしながらアクトタイプに交流し、有意義な時間を過ごしました。

お別れ会では、日本の紹介をクイズ形式で行ったり、書道を披露するなど、笑いあり涙ありの会になりました。いよいよ、ホストファミリーとお別れの日となり、寂しさ溢れる生徒たちの中には涙を流し、別れを

惜しむ姿を見て、引率の先生方は長く続いてきたこのプログラムに参加した生徒達にとつて有意義な交流となつていたことを実感したようです。

このプログラムは今回で二十四回目を終え、本当に長く交流が続いている理由には、高田学苑とオーストラリア両校との強い信頼関係と絆を感じます。国を越えた人と人とのつながりは言葉だけでなく、おもてなしや思いやりの心が大きく影響しており、毎年このプログラムに関われる人たちが増え続けていくことが将来多くの人たちがグローバルに活躍していくことに繋がると期待しています。今回のプログラムに多大な尽力を賜った皆様をはじめ、このプログラムを立ち上げ、ここまで素晴らしい交流プログラムに築き上げてきていただいたすべての方々に厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。



H29年度の進路状況について

キャリア支援センター

平成29年度卒業生の3月末現在の進路状況について報告します。

全体の状況について、卒業生2377名(昨年度229名)に対して、就職希望者232名(223名)、就職決定者231名(同222名)、未内定者1名(同1名)、進学者2名(同3名)、家事等従事者が3名(同3名)となり、就職率は昨年度と同じ99.6%という結果でした。う

ち、県外への就職は7名(同10名)と減少し、県内就職率は97%(同95%)と上昇しました。

学科別では、子ども学科卒業生146名(昨年度162名)のうち、幼稚園15名(同18名)、保育園77名(同96名)、こども園26名(同24名)、児童養護施設等18名(同12名)、社会福祉施設等1名(同4名)、一般企業8名(同4名)でした。進学者は1名(同3名)、家事等はなし(同1名)で就職率は例年通り100%となり、専門職としての就職者も全体の94%(同96%)と高率です。また、市町公務員試験(保育士・幼稚園教諭)には19名(延べ20名・昨年11名)が合格し、11名(同35名)が嘱託又は臨時職員として就職しました。今年度の特徴として、公務員試験に多数の合格者が出たこと(合格率54%)や児童養護施設への就職希望者が増えたこと等が挙げられます。

キャリア育成学科オフィスワーク

コースでは75名(同50名)が卒業し、主な業種では卸・小売業23名(同21名)、金融・保険11名(同6名)、医療・福祉9名(同5名)、製造7名(同3名)、運輸・情報通信6名(同3名)、サービス業5名(同8名)、建設4名(同1名)等、計71名(同47名)が一般企業に就職しました。また、家事等は3名(同1名)、進学者は1名(同なし)、未内定はなし(同1名)でした。今年も、多くの学生が希望する銀行に11名、医療事務に9名が就職を決めるなど、順調な結果となりました。

同学科介護福祉コースでは、卒業生16名(同17名)のうち、老人介護施設に13名(同14名)、一般企業に2名(同2名)が就職し、家事等は

なし(同1名)、未内定は1名(同なし)でした。今年度から、介護福祉士国家試験が課されるようになったこと及び介護ビザの創設により外国人留学生の就職が円滑に進んだこと等、新しい流れが生まれています。最後に、求人状況については、本年度、子ども学科には1,215人(同1,021人)、オフィスワークコースには1,216人(同1,129人)、介護福祉コースには742人(同653人)の求人があり、ここ数年の増加傾向は変わりありませんでした。これも樹心同窓会のみならず温かいご支援のおかげと深く感謝いたします。しかし、このような時だからこそ、安んずることなく、力量ある信頼される社会人を育成しなければならぬと、教職員一同、心しているところです。

短大大会だより

北端 一子

勤務していた頃の仲間と年に何度か会って、食べたり話したりして過ごしています。幼稚園勤務と保育園勤務をしていたので、幼稚園の仲間は、四日市から鳥羽までと離れているので、秋の終わり頃、年一回会います。最近はお気に入りの中華の店で食事会が多いです。それぞれ年齢が違っているので、とてもいい刺激をいただきます。保育園の仲間は、年に数回お互いの都合がいい時を選んでいきます。どちらも、最近の乳幼児教育の事や自分の身体の変化、習い事や楽しんでいることなど話は尽きません。時間は、すぐに経っていきま

す。いつまでも若い気持ちを持っていたい、勤務していた頃に戻りたいと思っても身体の動きがついていけない現状に戸惑いを持っています。でも、会えば気分もリフレッシュしますし、いろいろ教えてもらおうので勉強になります。年齢を重ねても学習ですね。

短大大会ですが、第一回の役員会を四月二十六日に短大の会議室で午後七時にしました。仕事を終えた方や、家庭の事をしてから出席する方などさまざまです。議題は、昨年度の報告とこれからの予定について話し合いました。毎年、高短祭に参加しています。今年は、十月二十日と二十一日の予定だそうです。同窓会としてバザーをする日は、二十日(土曜日)です。バザーの品物に、手作りをもっと加えたらどうかとの提案に悩んでしまいました。日常生活の中で、作るという作業がないからです。頭を抱えながらも手作りの本を見ながら出来る何かを考えようという事で一致しました。バザーを楽しむに待っている方々のためにもどうしたらいいか考えています。品物の種類だけでなく置き方や、手に取って見やすいようにするにはどうしたらいいか、同じ系統のものだけを置くコーナーを作ったらどうかなど机の上だけで考えても、実際品物がどれだけ集まるか当日でないと分かりません。臨機応変に対応していきます。役員の方の応援があつて盛り上がりがあったり、子どもの呼び込みがあつたりと頼もしい限りです。今年はどうなるか楽しみです。みなさんも参加しませんか?そして何かお気に入りがありましたら買ってください。待っています。

会員だより

高田中学校卒業生(昭和四十一年三月卒業)同窓会開催に際しましては卒業生名簿のご提供を賜りありがとうございます。

お陰をもちまして三十三名の参加をいただき盛会の内に終わらせていただくことが出来ましたこと改めてお礼を申し上げます。

つきましては、当日に配布いたしました名簿と訂正を記した卒業生名簿をお送りいたします。

なお今回は全体写真の撮影は出来ませんでしたので女性の集合写真を参考までにお送りいたします。

次回開催予定の古希記念同窓会の開催に際しましては何卒ご協力の程よろしく申し上げます。

平成二十九年七月七日

昭和四十一年高田中学校卒業生

同窓会幹事 大倉 栄治



高田高校水泳部OB会 懇親会開催の件

来る平成三十年五月三日(祝) 17:00PM 津駅アスト津地下「日本海庄屋津店」にて高田高校水泳部OB会懇親会を開催いたしました。昭和四十四年三月卒業生から昭和四十八年三月卒業生までを中心に出席総数十八名それぞれが還暦を過ぎており、中には卒業して以来一度も出会うこともなく四十数年ぶりの再会に大きな歓声がありました。

同級生とは個々には会っているものの先輩の方々や後輩のみんなに会うのは卒業して以来ですぐには名前や顔も思い出せない程の変貌ぶりに驚きを隠せませんでした。

久しぶりに会う時間は笑顔また笑顔、いつの間にか高校時代へタイムスリップしたような感覚に心も体も若返ったような楽しい時間を過ごせ



ました。

遠方からは埼玉県また愛知県方面からゴールデンウィークの後半初日にもかかわらず、この日の為だけに帰省してくれた方々も「また開催の連絡を楽しみに待っています」との事。

同窓会やクラス会とはまた違った一体感のあるOB会をこれからも毎年開催したいと思っています。なお、開催するにあたってまだまだ連絡のつかない方々も多少ありますのでこの記事を見られた水泳部OBの方は是非ご連絡をお待ちしております。

昭和四十六年三月卒業生
水泳部OB会担当幹事
青木 伸夫

還暦を迎えて

平成三十年五月三日、プラザ洞津で、全員が還暦を迎えての高田中学(三年コース)昭和四十八年卒同窓会を卒業時の担任の神山(旧姓森)先生にご臨席いただき、参加人員四〇名で開催いたしました。

伊勢志摩サミットのワーキングランチの乾杯酒に選ばれて全国に名を轟かせた「作(ぞく)」をクラスメイトの蔵元清水清三郎商店株式会社の社長清水慎一郎さんから提供を受け、彼の音頭により「日本酒で乾杯」で開幕です。

私たちの学年は、a・bの二クラス百名程度なので歳月が過ぎて当時とは、姿かたちは違えどもネームブ



レットを見れば、直に中学時代にタイムスリップすることが可能です。無念にも鬼籍にはいった同級生も四名いますが、久々に再会を果たして毎月十六日の本山参詣や名物先生の思い出話に夢中になりました。その上、一人ずつ壇上に出て現況報告をしてもらっていたら、いつの間にか予定時間の三時間をオーバーする事態となり、校歌も一番を歌うのが関の山で記念撮影も早々に会場をあとにしました。

還暦を過ぎてそれなりに時間に余裕もできたのか、その後も施設内のレストランで、大半が残って二次会を練り広げ、時を惜しむかのように四方山話に花を咲かせていました。これまではサッカーワールドカップの開始年に同窓会を開催していたのですが、今後は二年に一度にして

はとの意見が出て、次回は東京オリムピックのある二〇二〇年の再会を約束して帰路につきました。後日、神山先生が所属されている三重バツハ合唱団演奏会に同窓生数名で押しかけ、先生の勇姿を拝見して参りました。(文責 富谷 亘)

高田学苑馬術部 創部五十五周年祝賀会

平成三十年三月十日(土)アスト津にて高田学苑馬術部創部五十五周年及び全日本高校生自馬選手権大会団体総合優勝二連覇、第五十一回全日本高等学校馬術競技大会準優勝を記念し祝賀会を行いました。

当日は、馬術部OB・OG総勢一三〇名が参加し又樹心同窓会佐脇会長にもご出席を頂きました。今振り返ってみれば、創部当時は毎日が施設設備の作業に追われこれといった練習が出来なかったと思います。しかし創部三年目にして中部大会で優勝、その波に乗り新馬も増え実力も付きました。

現在馬術部卒業生達は、全国で馬とのつながりのもと大変活躍して頂いております。

練習場は創部当時から高田短大の敷地をお借りして四十数年頑張つて来ましたが、前学苑長田中和磨先生によって高田学苑の校舎建て替え時には、馬術部の施設設備等も移転し



素晴らしい施設を作って頂きました。新しい施設に移ってからは今まで以上に実力を付け、相棒の馬にも恵まれ団体団体戦準優勝馬場競技入賞と記録を続け、昨年度は自馬大会団体二連覇、全日本馬術大会準優勝と素晴らしい結果を後輩達は残してくれました。

このような結果を田中和磨先生がお元氣な時に報告出来なかった事が残念です。

各世代のエピソードトーク、瀬野先生からは創部当時のエピソードなど過去から現在までの上映を行うなど約二時間三十分にとり楽しんで頂きました。

このような盛大に祝賀会を開催できました事もひとえに皆様のお陰と感謝しております。今後とも高田学

苑馬術部へ皆様のご協力、ご支援を
頂きますよう宜しく御願ひ申し上げ
ます。

高田学苑苑馬術部OB会会長

森川 昌浩

(昭和四十一年三月卒)

昭和五十三年(一九七八年)三
月卒業以来、実に四十年ぶり、且
つ、五十五歳になる節目の年度の
二〇一八年一月二日(火)十三時、
友達とは、どんなに時間が経って
も、どんなに離れていても、再会す
れば昨日の続きの様に接する事が出
来る。と言う趣旨の言葉通り、まさ
にそれを体現するシーンがあらこ
ちらで見受けられながら同窓会が始
まろうとしていました。

参加者は、当時の三年制二クラス
九十二名中、四十名(男性二十九名・
女性十一名)。

幹事挨拶(逝去者)報告(黙禱
)に続き、同学年在籍、津市長前葉
泰幸君の「乾杯」の掛け声と共に、
会はスタートしました。

会の進行は、歓談を中心とした以
外は、各自の近況報告を実施したの
みでしたが、やはり、四十年と言う
歳月です。同窓生の各方面での活躍
(人生色々)との感慨深い言葉が当
てはまる近況報告でした。

予定の三時間はあつと言う間に過
ぎてしまい、次回開催を切望されつ
つ、閉会となりました。
幹事としては今回の旧交の復活を

きっかけとして、新たなお付き合い
集まりが生まれ、活性化していけば
良いなと思うところです。

なお、次回開催時期は未定ですが、
六十歳を迎える年度(二〇二二年)
は、高田学苑の開学一五〇周年に当
たる記念すべき年にもあたります。

皆の協力を得て、今回連絡が取れな
かった方々も行方を追跡し、より多
くの同窓生が集える様、努力したい
と思います。

最後になりますが、開催にあたり、
樹心同窓会事務局長の安井先生には、
「同窓生名簿」及び「開学一三〇年
記念誌」のご提供等、ご協力を賜り
ました。紙面をお借りして厚く御礼
申し上げます。

S五十三年 中三コース卒 西井



平成30年度

高田学苑樹心同窓会総会

平成30年8月5日(日) 午後3時~6時

●総会 ホテルグリーンパーク津(津駅前アスト津内)
6階 中宴会場

●懇親会 ホテルグリーンパーク津(津駅前アスト津内)
6階 大宴会場(伊勢の間・安濃の間)

○総会・追弔会 ○懇親会 ○結城さおり with TMB(高田メモリアルバンド)コンサート

※会費として、3,000円当日受付でいただきます。 ※お車でお越しの方はアスト駐車場をご利用下さい。 ※お酒が出ます。飲まれる方はお車での参加はご遠慮下さい。



(昨年度の様子)

計 報

駒	稲	高	小	萬	鈴	杉	田	横	仲	辻	窪	岸	井	永	葛	小	山	古	西	鈴	寺	森	細	松	田	中	長	近
田	垣	田	林	代	木	本	中	山	田	早	田	西	林	田	一	口	木	島	川	川	尾	中	西	澤	藤			
由	葉	徳	守	昌	庸	謙	克	茂	俊	光	昭	三	十	秀	迪	純	寿	哲	良									
博	一	子	誠	勤	英	生	薫	伯	好	郎	己	樹	衛	弥	雄	三	男	力	焉	也	明	実	亘	茂	生	史	照	
(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S
25	25	47	39	35	34	30	28	26	26	26	26	26	25	24	20	19	19	19	19	18	17	15	15	15	15	8	7	20
高	高	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	18
校	校	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒

小	尾	加	中	矢	安	中	出	坂	家	松	別	岡	真	木	川	阿	杉	大	馬	富	田	立	伊	行	林	佐	鈴	
林	市	田	須	田	田	村	口	本	城	裏	所	田	野	村	崎	竹	木	賀	淵	田	中	道	藤	方	久	間	木	
敏	文	富	清	和	登	敏	光	雅	宏	清	鉄	節	保	範	円	充	雅	智	幸	玄	憲	高						
子	歩	郷	孝	春	子	久	徹	幸	夫	晴	一	子	夫	孝	仁	夫	三	浄	穂	信	郎	彦	雄	之	明			
(S	(H	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S
53	3	61	55	41	41	41	41	38	37	37	36	35	31	31	30	29	29	29	29	29	29	28	26	26	25	25	25	
短	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高
校	校	校	校	校	校	校	校	校	校	校	校	校	校	校	校	校	校	校	校	校	校	校	校	校	校	校	校	校

平成29年度

退職教職員

稲水 高横 徳島 柳 宮 佐倉 坂森 萩 辻 米
 (短) 崎 波 田 倉 川 野 井 田
 直 潤 孝 雅 貴 義 慶 洋 真 純 昌 公 明
 子 子 範 子 英 啓 子 子 己 子 満 浩 子 子 眞

ご受章おめでとうございます
日野 昭 様 (高校昭和30年卒)
旭日双光章ご受章

*ホームページアドレス
<http://www.mie-takada-hj.ed.jp>
 *メールアドレス
office-jushin@mie-takada-hj.ed.jp
 *協力金振込口座(1口1,000円)
 ゆうちょ銀行 口座番号、記号 00870-1-125341
 高田学苑樹心同窓会